資料4

授業時間割（前期）

ポートアイランドキャンパス全体版

調整日（臨地実習により授業回数が不足する授業科目の実施日）

区分	時限	月						火						水						木						金					
		学科		学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室
看護学部	Ⅰ	看護学科	看	1	教育心理学Ⅱ（養教免）	下司	A605	看	1B	教養英語Ⅰ-1	山下	D304	看					看	1	生活概論	東 野並 馬場	F417 F310	看	1	学びのグループゼミⅠ	全					
			看					看	2	実践看護論	野並	F310	看	2	薬理学	李	F102	看	2	疾病と治療Ⅰ	安田	F210	看	2	学びのグループゼミⅡ	全	F304ABC F301 F302 F310 F210 F102				
			看					看	2	ｺﾐｭﾆﾃｨｹｱｼｽﾃﾑ論	藤田 福山 藤原 丸山 牛越	F102	看	2	老年看護論	藤田	F302	看	2	治療看護論（2回）	元木	F419 F302	看	3	学びのグループゼミⅢ	全					
			看	3	公衆衛生看護学概論	魚里	F301	看	3	在宅看護論（2回）	福山 魚里	F210	看	3	慢性期看護論（2回）	藤原	F419 F310	看					看	3	地域看護活動論（2回）	小路	F205 F210					
			看					看	3	公衆衛生看護学概論（2回）	魚里	F301	看	3	治療療養支援技術演習（2回）	横内 藤原 元木	F419 F310	看					看	3	成育看護技術演習Ⅱ（2回）	内 菅野 下敷領 田村 牛越	F209 F210					
			看					看	3	急性期看護論（2回）	横内	F419 F302	看					看					看								
			看	4	公衆衛生看護演習（保健師）	小路	F202 F210	看	4	公衆衛生看護演習（保健師）	小路	F202	看					看	3	教育方法の理論と実践（養教免）	竹田	C309	看								
			看	4	助産診断技術論演習（助産師）	下敷領・田村・牛越	F209 F204	看	4	助産診断技術論演習（助産師）	下敷領・田村・牛越	F209 F204	看	4	災害看護	東・魚 里・元 木・玉 木・横 内・内・ 田村	F210	看					看	4	学びのグループゼミⅣ	全	F304ABC F301 F302 F310 F210 F102				
健康福祉学部	Ⅰ	社会福祉学科	社	1AB				社	1AB	基礎ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ	重福	TA	社	1AB				社	1AB				社	1AB	現代社会と福祉Ⅰ	冨永	D501				
			社	1C				社	1C				社	1C				社	1C				社	1C	現代社会と福祉Ⅰ	冨永	D501				
			社	2AB	相談援助の理論と方法Ⅰ	冨永	D403	社	2AB	相談援助演習Ⅰ	植戸 松﨑 曽田 冨永	C308 D204 D406 D407 D408 D409	社	2AB	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅰ	曽田	D403	社	2AB	認知症の理解Ⅰ	泉	C308	社	2AB	地域福祉の理論と方法Ⅰ	小笠原	D404					
			社	2C	相談援助の理論と方法Ⅰ	冨永	D403	社	2C	相談援助演習Ⅰ			社	2C	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅰ	曽田	D403	社	2C	認知症の理解Ⅰ	泉	C308	社	2C	地域福祉の理論と方法Ⅰ	小笠原	D404					
			社	3AB				社	3AB	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ	瀧本	D403	社	3AB				社	3AB	相談援助実習指導Ⅱ	松﨑 清水 冨永 植戸 曽田 下司 小笠原	研究室 D404 D406 D407 D408 D409	社	3AB								
			社	3C				社	3C	介護過程演習Ⅰ	横山	D305 D404	社	3C				社	3C	相談援助実習指導Ⅱ			社	3C								
			社	4AB				社	4AB	福祉サービスの組織と経営	小笠原	B307	社	4AB				社	4AB	更生保護制度（前半8回）	廣田	D403	社	4AB								
			社	4C	事例研究	泉 津田	研究室 D304 D305	社	4C	福祉サービスの組織と経営	小笠原	B307	社	4C				社	4C	更生保護制度（前半8回）	廣田	D403	社	4C								
		健康スポーツ栄養学科	ス	1A				ス	1A	スポーツ栄養学Ⅰ	坂元	C309	ス	1A	基礎ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ	重福	TA	ス	1A	栄養学総論	坂元	D304	ス	1A	基礎調理学実習	佐藤 糸井	C207 C208					
			ス	1B	スポーツ栄養学Ⅰ	坂元	D404	ス	1B	教養英語Ⅰ-1	山下	D304	ス	1B	情報Ⅰ	竹田	D305	ス	1B	基礎調理学実習	佐藤 糸井	C207 C208	ス	1B	栄養情報処理演習	松本	D305					
			ス	2A	教育心理学Ⅱ	下司	A605	ス	2A	応用調理学実習Ⅰ	糸井	C207 C208	ス	2A	解剖生理学実験	奥野 鈴木	A713	ス	2A	食品学実験	吉川	A711	ス	2A								
			ス	2B	教育心理学Ⅱ	下司	A605	ス	2B				ス	2B	応用調理学実習Ⅰ	糸井	C207 C208	ス	2B	身体運動実習Ⅰ（エアロビックダンス）	重福	TA TS TM	ス	2B	食品学実験	吉川	A711					
			ス	3A				ス	3A	専門演習Ⅰ	梶原 奥野 鈴木 山本	研究室 C403 C406	ス	3A	健康体力評価論（含実習）	小田	D304 TM TS	ス	3A	教育方法の理論と実践（栄教免）	竹田	C309	ス	3A								
			ス	3B				ス	3B	専門演習Ⅰ			ス	3B				ス	3B	教育方法の理論と実践（栄教免）	竹田	C309	ス	3B								
			ス	4A	臨床栄養学実習	松本	C207 C208	ス	4A				ス	4A	卒業論文	梶原 吉川 松浦	研究室 C406	ス	4A	卒業論文	松本 鈴木	研究室	ス	4A	卒業論文	坂元	研究室 C406					
			ス	4B				ス	4B				ス	4B	卒業論文			ス	4B	卒業論文	松本 鈴木	研究室	ス	4B	卒業論文	坂元	研究室 C406					
学部共通	Ⅰ	教養	全	1	現代社会Ⅴ	清水 他	D501						看	1	基礎Ⅰ	野並 宇賀 玉木	F304	健	1～4	★地域ｺﾐｭﾆﾃｨ入門（9：00～10：30）	飛田	神戸学院										
																		全	1	心理学Ⅰ	下司	B403										
神戸女子短期大学	Ⅰ	総合生活学科	生	1C	情報ﾘﾃﾗｼｰ	浅木森	B304	生	1AB	情報ﾘﾃﾗｼｰ	平田	B304	生	1	調理基礎実習	中尾	A914	生	1	被服構成基礎実習	古田	A304	生	1DE	情報ﾘﾃﾗｼｰ	浅木森	B304					
			生	1	調理基礎実習	中尾	A914	生	1	調理学	中尾	A606	生	1	秘書学概論	中川	A607	生	1	住居ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎実習	本保	B306	生	1 |被服学	古田	A603					
			生	1	住居ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎実習	本保	B306	生	1	住居学	本保	D206	生	1	ﾌﾟﾗｲﾀﾞﾙﾌﾟﾗﾝﾅｰⅠ	細見	A603	生	2	ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ技術論	浅木森	B304	生	1	ＣＧ演習Ⅰ	林孝	B303					
			生	2	ﾌｧｯｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ論	羽多	A405						生	2	ﾈｲﾙｱｰﾄ演習Ⅰ	増田	A406						生	2	特別活動指導法（中）	新井野	A604					
			生	2	旅行業実務論	中川	A307						生	2	食品学実験	上田	A712						生	2	被服構成実習（洋裁）	十一	A304					
			生	2	ﾌｰﾄﾞｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ論	安原	A608						生	2	音楽心理学演習	鷲見	A504															
		食物栄養学科	栄	1A	食品学実験Ⅰ	田中	A712	栄	1A	生理学	平野	A604	栄	1A				栄	1A	調理学実習Ⅰ	竹内み	A914	栄	1A	体育実技	野之上	TA					
			栄	1B	解剖学	平野	A604	栄	1B	調理学実習Ⅰ	下山	A914	栄	1B				栄	1B	食品学実験Ⅰ	赤桐	A712	栄	1B								
			栄	1C				栄	1CD	やさしい生物	吉泉	A608	栄	1C				栄	1C	給食計画実務論	西川	A606	栄	1C	食品学実験Ⅰ	田中	A712					
			栄	1D	基礎栄養学	赤桐	A603	栄					栄	1D	調理学実習Ⅰ	下山	A809	栄	1D				栄	1D								
			栄	2A	解剖生理学実習	森沢	A713	栄	2A	栄養教育・指導論	本田	A804	栄	2A	給食運営管理実習Ⅱ	西川	A804 A806 A807	栄	2A	英語Ⅰ(a)	上野	A302	栄	2A	栄養学実習Ⅰ	竹内み	A809					
			栄	2B	給食運営管理実習Ⅱ	西川	A804 A806 A807	栄	2B	栄養学実習Ⅱ	今本 坂本 中村	A908 B305	栄	2B	食品衛生学実験	逵	A711	栄	2B				栄	2B	栄養教育・指導論実習	本田	A808					
			栄	2C	栄養教育・指導論実習	本田	A808	栄	2C	解剖生理学実習	森沢	A713	栄	2C				栄	2C	栄養学実習Ⅰ	早川	A809	栄	2C	臨床栄養学実習	今本	A908					
			栄	2D	食品衛生学実験	逵	A711	栄	2D	公衆衛生学	宇賀	A302	栄	2D	栄養教育・指導論実習	本田	A808	栄	2D	栄養学実習Ⅱ	今本 坂本 中村	A908 B305	栄	2D	給食運営管理実習Ⅱ	竹内よ	A804 A806 A807					
		幼児教育学科	幼	1AB	教職原論	三木	A404	幼	1AB	保育内容総論	川村	B407	幼	1B	情報ﾘﾃﾗｼｰ	水島	B303	幼	1AB	幼児理解の理論・方法	塚田	A404	幼	1	子どもの保健Ⅰ	谷口	B407					
			幼	1CD	音楽（歌唱）A	宮内 貞清	A504 A505	幼	1CD	保育内容の指導法（言葉）	三木	A402	幼	1CD	音楽（器楽）A2	宮永	A507	幼	1CD	音楽（器楽）A1	廣田 瓜谷 角南 高橋 東 成瀬 田中 城市 村林 河本	A502 A503 A506 A507	幼										
			幼	2AB				幼	2AB	図画工作	長谷川	A405 A406	幼	2AB	社会的養護内容	畠山	A404	幼	2AB	音楽（歌唱）C	宮内 貞清	A504 A505	幼	2AB								
			幼	2CD	音楽（器楽）C	廣田 瓜谷 高橋 東 成瀬 田中 城市 村林 大西 河本	A502 A503 A506 A507	幼	2CD	障害児保育Ⅰ	永井	A507	幼	2CD	保育の心理学Ⅱ	塚田	A608	幼	2CD	保育内容の指導法B	庄司	A405 A406 A407	幼	2CD								
		教養																全	1・2	★地域ｺﾐｭﾆﾃｨ入門（9：00～10：30）	飛田	神戸学院										

授業時間割（前期）

ポートアイランドキャンパス全体版

調整日（臨地実習により授業回数が不足する授業科目の実施日）

区分	時限	月						火						水						木						金					
			学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室
看護学部	Ⅱ	看護学科	看	1A	基礎トレーニング	重福	TA	看	1A	英語Ⅱ－1	バンデン	F301	看					看	1	発達心理学	伊藤	F302	看	1	コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅰ	魚里 藤田 馬場 川妻田 福山	F417 F310
			看	1B	情報Ⅰ	平田	F311	看	1B	英語Ⅱ－1	深井	F302	看	1B	基礎トレーニング	重福	TA	看					看				
			看					看	2	疾病と治療Ⅲ	加堂	F310	看	2	社会福祉・社会保障論	松崎	F102	看	2	精神看護論	玉木 大谷	F419 F310	看				
			看	2	疾病と治療Ⅳ	橋本	F310	看					看	2	医療ｹｱｼｽﾃﾑ論	横内 東 宇賀 加堂	F301	看					看				
			看					看					看	3	慢性期看護論	藤原	F419 F310	看	3	家族看護論	内 藤田 大谷 横内 元木	F301	看	3	成育看護技術演習Ⅱ	内 菅野 下敷領 田村 牛越	F209 F210
			看					看					看					看	3	教育方法の理論と実践（養教免）（2回）	竹田	C309	看				
			看	4	公衆衛生看護演習（保健師）	小路	F202 F210	看	4	公衆衛生看護演習（保健師）	小路	F202 F210	看	4	災害看護	東・魚元 里・玉 木・横 内・内・ 田村	F210	看					看				
			看	4	助産診断技術論演習（助産師）	下敷領・田村・牛越	F209 F204	看	4	助産診断技術論演習（助産師）	下敷領・田村・牛越	F209 F204	看					看					看				
健康福祉学部	Ⅱ	社会福祉学科	社	1AB				社	1	教養英語Ⅰ-1	島田	C308	社	1AB				社	1AB	社会福祉演習Ⅰ	泉小笠原 木村下司 清水曽田 冨永松枳 眞野津田 植戸横山	研究室 C308 D204 D406 D407 D408 D409	社	1AB	*福祉と人権	松崎	D403
			社	1C				社	1C	基礎ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ	重福	TA	社	1C				社	1C	社会福祉演習Ⅰ			社	1C	*福祉と人権	松崎	D403
			社	2AB	精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ	眞野	D304	社	2AB				社	2AB				社	2AB				社	2AB	心理学理論と心理的支援	下司	D404
			社	2C	介護総合演習Ⅰ	泉 津田	研究室 C309 D406 D407	社	2C				社	2C				社	2C				社	2C	心理学理論と心理的支援	下司	D404
			社	3AB	福祉行財政と福祉計画	藤田	D501	社	3AB	社会福祉演習Ⅱ	植戸冨永 松崎横山 清水曽田 津田眞野 下司木村 泉小笠原	研究室 D204	社	3AB	こころとからだのしくみⅡ	横山	D404	社	3AB				社	3AB	保健医療ｻｰﾋﾞｽ	阿江	D501
			社	3C	福祉行財政と福祉計画	藤田	D501	社	3C	社会福祉演習Ⅱ			社	3C	こころとからだのしくみⅡ	横山	D404	社	3C				社	3C	保健医療ｻｰﾋﾞｽ	阿江	D501
			社	4AB	就労支援サービス（前半8回）	松崎	D403	社	4AB				社	4AB	相談援助の理論と方法Ⅲ	植戸	D501	社	4AB				社	4AB			
			社	4C	就労支援サービス（前半8回）	松崎	D403	社	4C				社	4C	相談援助の理論と方法Ⅲ	植戸	D501	社	4C	レクリエーション活動論	重福	C309 TS TM	社	4C			
		健康スポーツ栄養学科	ス	1A	健康管理概論（倫理学を含む）	鈴木	D404	ス	1A	食品衛生学	梶原	D206	ス	1A	情報Ⅰ	竹田	D305	ス	1A	調理科学	松浦	D304	ス	1A	基礎調理学実習	佐藤 糸井	C207 C208
			ス	1B	健康管理概論（倫理学を含む）	鈴木	D404	ス	1B	英語Ⅰ-1	ﾗﾎﾟｰｻﾞ	C309	ス	1B	調理科学	松浦	D403	ス	1B	基礎調理学実習	佐藤 糸井	C207 C208	ス	1B	栄養学総論	坂元	D304
			ス	2A	身体運動実習Ⅰ（エアロビックダンス）	重福	TA TS TM	ス	2A	応用調理学実習Ⅰ	糸井	C207 C208	ス	2A	解剖生理学実験	奥野 鈴木	A713	ス	2A	食品学実験	吉川	A711	ス	2A			
			ス	2B	給食計画・実務論	佐藤	C308	ス	2B	応用栄養学	松浦	D403	ス	2B	応用調理学実習Ⅰ	糸井	C207 C208	ス	2B	栄養教育･指導論Ⅱ	山本	A804	ス	2B	食品学実験	吉川	A711
			ス	3A				ス	3A	臨床栄養学概論	鈴木	D304	ス	3A				ス	3A	スポーツ栄養情報処理演習	坂元	D305	ス	3A	栄養情報処理演習	松本	D305
			ス	3B				ス	3B	ｽﾎﾟｰﾂ栄養情報処理演習	坂元	D305	ス	3B	健康体力評価論（含実習）	小田	D304 TM TS	ス	3B	臨床栄養学概論	鈴木	D404	ス	3B			
			ス	4A	臨床栄養学実習	松本	C207 C208	ス	4A	卒業論文	奥野 山下	研究室	ス	4A	社会福祉論	小笠原	C309	ス	4A				ス	4A			
			ス	4B				ス	4B	卒業論文	奥野 山下	研究室	ス	4B				ス	4B				ス	4B			
学部共通	Ⅱ	教養											全	1	歴史Ⅰ	志賀	D206						全	1	教養総合Ⅰ	崔	B403
																							全	2	教養総合Ⅲ	崔	B403
																							全	3	教養総合Ⅴ	崔	B403
																							全	4	教養総合Ⅶ	崔	B403
神戸女子短期大学	Ⅱ	総合生活学科	生	1	調理基礎実習	中尾	A914	生	1	総合生活論	浅木森 谷山 中川 長瀬 林 武藤 細見 本保 中尾 吉田 福井	B403	生	1	住居学	本保	A303	生	1	被服構成基礎実習	古田	A304	生	1	住まいの法規	堀川	B307
			生	1	住居ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎実習	本保	B306	生	2	住まいの構造	井田	A304 A605	生	1	調理基礎実習	中尾	A914	生	1	住居ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎実習	本保	B306	生	1	住まいの施工	堀川	B307
			生	1	実践日本語表現Ⅰ（書きことば）	武藤	A606						生	1	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習Ⅰ	福井	B304 B307	生	1	実践資格英語Ⅰ	谷山	A605	生	1	保育学（実習を含む）	服部	A404 A402
			生	2	ｲﾝﾃﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ論	平山	B305						生	2	ﾌﾟﾗｲﾀﾞﾙｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ論	向山	B407	生	2	情報科学Ⅱ	浅木森	B304	生	1	旅行ﾋﾞｼﾞﾈｽ論	中川	D206
			生	2	食品加工学	細見	D206						生	2	食品学実験	上田	A712						生	2	被服構成実習（洋裁）	十一	A304
																							生	2	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀと情報発信	浅木森	B304
		食物栄養学科	栄	1A	食品学実験Ⅰ	田中	A712	栄	1A	基礎栄養学	赤桐	A303	栄	1A	解剖学	平野	A604	栄	1A	調理学実習Ⅰ	竹内み	A914	栄	1A			
			栄	1B	調理学	竹内み	A603	栄	1B	調理学実習Ⅰ	下山	A914	栄	1B	基礎栄養学	赤桐	A603	栄	1B	食品学実験Ⅰ	赤桐	A712	栄	1B	体育実技	野之上	TA
			栄	1C	生理学	平野	A604	栄	1C	調理学	竹内み	A604	栄	1C				栄	1C	食品衛生学	逵	A603	栄	1C	食品学実験Ⅰ	田中	A712
			栄	1D	情報ﾘﾃﾗｼｰ	水島	B303	栄	1D	食品衛生学	逵	A603	栄	1D	調理学実習Ⅰ	下山	A809	栄	1D	解剖学	平野	A604	栄	1D			
			栄	2A	解剖生理学実習	森沢	A713	栄	2A	公衆衛生学	宇賀	A302	栄	2A	給食運営管理実習Ⅱ	西川	A804 A806 A807	栄	2A				栄	2A	栄養学実習Ⅰ	竹内み	A809
			栄	2B	給食運営管理実習Ⅱ	西川	A804 A806 A807	栄	2B	栄養学実習Ⅱ	今本 坂本 中村	A908 B305	栄	2B	食品衛生学実験	逵	A711	栄	2B	英語Ⅰ(a)	上野	A302	栄	2B	栄養教育・指導論実習	本田	A808
			栄	2C	栄養教育・指導論実習	本田	A808	栄	2C	解剖生理学実習	森沢	A713	栄	2C	英語Ⅰ(a)	上野	A302	栄	2C	栄養学実習Ⅰ	早川	A809	栄	2C	臨床栄養学実習	今本	A908
			栄	2D	食品衛生学実験	逵	A711	栄	2D				栄	2D	栄養教育・指導論実習	本田	A808	栄	2D	栄養学実習Ⅱ	今本 坂本 中村	A908 B305	栄	2D	給食運営管理実習Ⅱ	竹内よ	A804 A806 A807
		幼児教育学科	幼	1AB	音楽（歌唱）A	宮内 貞清	A504 A505	幼	1AB	保育内容の指導法（人間関係）	庄司	A407 A402	幼	1AB	音楽（器楽）A2	宮永	A507	幼	1AB	音楽（器楽）A1	廣田 瓜谷 角南 高橋 東 成瀬 田中 城市 村林 河本	A502 A503 A506 A507	幼	1AB	子どもの食と栄養Ⅰ	田中	A606 A914
			幼	1CD	教職原論	三木	A607	幼	1CD	保育内容総論	川村	B407	幼	1CD	幼児理解の理論・方法	塚田	A404	幼	1CD	乳児保育Ⅰ	永井	D203 A402	幼	1CD	保育内容の指導法（健康）	庄司	A402 TS TM
			幼	2AB	音楽（器楽）C	廣田 瓜谷 高橋 東 成瀬 田中 城市 村林 大西 河本	A502 A503 A506 A507	幼	2AB	障害児保育Ⅰ	永井	A507	幼	2AB	造形表現研究	長谷川	A405 A406	幼	2AB	保育内容の指導法B	庄司	A405 A406 A407	幼	2AB	保育実習指導Ⅱ	永井 川村	A607
			幼	2CD	相談援助	畠山	B307	幼	2CD	図画工作	長谷川	A405 A406	幼	2CD	社会的養護内容	畠山	A608	幼	2CD	音楽（歌唱）C	宮内 貞清	A504 A505	幼	2CD			
		教養																									

授業時間割（前期）

ポートアイランドキャンパス全体版

調整日（臨地実習により授業回数が不足する授業科目の実施日）

区分	時限	月						火						水						木						金					
			学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室		学科	学年クラス	科目名	担当	教室		学科	学年クラス	科目名	担当	教室		学科	学年クラス	科目名	担当	教室	
看護学部	Ⅲ	看護学科	看	1	看護学概論	野並	F302							看	1A	情報Ⅰ	竹田	F311		看	1	特別生物	上曽山	F310		看	1	教育基礎論Ⅱ（養教免）	保田	C309	
			看					看	1A	教養英語Ⅰ-1	山下	F302		看						看						看					
			看	2	疫学	宇賀	F301 F311	看						看						看	2	疾病と治療Ⅱ	佐古・高橋・眞庭・田中・吉田・水野	F301		看					
			看					看	3	急性期看護論	横内	F419 F310		看	3	治療療養支援技術演習	横内・藤原・元木	F419 F310		看	3	女性の健康増進と看護	下敷領	F209 F210		看	3	助産学概論	田村	F209 F210	
			看	4	公衆衛生看護管理論（保健師）	魚里	F202 F210	看	4	公衆衛生看護管理論（保健師）	魚里	F202 F210		看	4	養護実習指導（養教免）	丸山 岸本 榎元	F301		看	4	医療英語	島田	F302		看	4	養護実習指導（養教免）	丸山 岸本 榎元	F301	
			看					看	4	助産管理（助産師）	下敷領	F209 F204		看						看						看					
健康福祉学部	Ⅲ	社会福祉学科	社					社	1AB	英語Ⅰ-1	バンデン	D404		社	1AB					社	1AB	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	冨永	D501		社	1AB	人体の構造と機能及び疾病	津田	D501	
			社	1	情報Ⅰ	平田	B303	社	1C	英語Ⅰ-1	島田	C309		社	1C	介護の基本Ⅰ	泉	A603		社	1C	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	冨永	D501		社	1C	人体の構造と機能及び疾病	津田	D501	
			社	2AB	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	清水	D404	社	2AB	障害者に対する支援と障害者自立支援制度Ⅰ	植戸	D501		社	2AB					社	2AB					社	2AB	低所得者に対する支援と生活保護制度	松﨑	D404	
			社	2C	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	清水	D404	社	2C	障害者に対する支援と障害者自立支援制度Ⅰ	植戸	D501		社	2C	生活支援技術Ⅱ（応用）	木村	C106 C107 C308		社	2C					社	2C	低所得者に対する支援と生活保護制度	松﨑	D404	
			社	3AB	相談援助演習Ⅱ	植戸 冨永 曽田 下司	C309 D204 D206 D406 D407 D408 D409	社	3AB	社会保障Ⅰ	清水	A608		社	3AB					社	3AB					社	3AB				
			社	3C	相談援助演習Ⅱ			社	3C	社会保障Ⅰ	清水	A608		社	3C					社	3C					社	3C				
			社					社						社						社						社					
			社	4AB				社	4AB	精神保健福祉援助実習	眞野	D204 D205		社	4AB	相談援助の理論と方法Ⅳ	植戸	D403		社	4AB					社	4AB				
			社	4C				社	4C					社	4C	相談援助の理論と方法Ⅳ	植戸	D403		社	4C					社	4C				
		健康スポーツ栄養学科	ス	1A	栄養情報処理演習	松本	D305	ス	1A	教養英語Ⅰ-1	山下	D403		ス						ス	1A	基礎演習Ⅰ	奥野山本吉川重福佐藤松浦坂元松本	研究室 D305 D404 D406 D407 D408 D409		ス	1A	*栄養を中心とした生物Ⅰ	吉川	D206	
			ス	1B	基礎トレーニング	重福	TA	ス	1B	解剖生理学	鈴木	D304		ス						ス	1B	基礎演習Ⅰ				ス	1B	*栄養を中心とした生物Ⅰ	吉川	D206	
			ス	2A	栄養教育・指導論Ⅱ（カウンセリング論含む）	山本	A804	ス	2A					ス	2A	応用栄養学	松浦	B305		ス	2A	臨床医学概論	鈴木	D304		ス	2A	教育基礎論Ⅱ（栄教免）	保田	C309	
			ス	2B	英語Ⅱ-1	ﾗｵﾎﾟｰｻﾞ	D403	ス	2B					ス	2B	臨床医学概論	鈴木	D404		ス	2B					ス	2B	教育基礎論Ⅱ（栄教免）	保田	C309	
			ス	3A	専門演習Ⅰ	坂元 佐藤 松浦 山下 吉川	研究室 C207 C208 C403 C406	ス	3A	栄養学実験	梶原 松本	A712		ス	3A	運動生理学実習	奥野	C409		ス	3A	理学療法論	成瀬文	D403		ス	3A	ｽﾎﾟｰﾂ栄養ｸｯｷﾝｸﾞ	坂元	C207 C208	
			ス	3B	専門演習Ⅰ			ス	3B	ｽﾎﾟｰﾂ栄養ｸｯｷﾝｸﾞ	坂元	C207 C208		ス	3B	運動生理学実習	奥野	C409		ス	3B	理学療法論	成瀬文	D403		ス	3B	栄養学実験	梶原 松本	A712	
			ス	4A	フードコーディネート論	安原	B403	ス	4A	社会福祉援助技術	曽田	D406 D407		ス	4A	食品加工学（食品微生物学を含む）	糸井	A302		ス	4A	消費生活科学	水野	B403		ス	4A				
			ス	4B	フードコーディネート論	安原	B403	ス	4B	社会福祉援助技術	曽田	D406 D407		ス	4B	社会福祉論	小笠原	C309		ス	4B	消費生活科学	水野	B403		ス	4B				
学部共通	Ⅲ	教養	社	1	情報Ⅰ	平田	B303	看	1	外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	深井	F301		全	1	女性Ⅰ	内藤	D206		健	1～4	★防災・防犯入門（10：45～12：15）	未	神戸学院		看	2	基礎Ⅲ	魚里	F310	
								全	2	イタリア語講読Ⅰ	吉冨	A504								全	1	宗教	黒瀬	A608							
								全	2	ドイツ語講読Ⅰ	毛利	A302																			
								全	2	フランス語講読Ⅰ	竹垣	A603																			
								全	2	中国語講読Ⅰ	柴田	D206																			
								全	2	朝鮮語講読Ⅰ	鄭	B307																			
								全	2	ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ-2	重福 野之上 山本辰	TA TS TM																			
								全	3	ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ-4	重福 野之上 山本辰	TA TS TM																			
								全	4	ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ-6	重福 野之上 山本辰	TA TS TM																			
神戸女子短期大学	Ⅲ	総合生活学科	生	1	ﾃﾞｯｻﾝ演習	林孝	A406 A407	生	1	情報社会論	水島	A607		生	1	英語Ⅰ(a)	谷山	B307		生	1	調理学	中尾	B305		生	1	製ﾊﾟﾝ・製菓実習	細見	A915	
			生	1	製ﾊﾟﾝ・製菓実習	細見	A915	生	1	色彩学	長谷川	A404		生	1	英語Ⅰ(a)	久保	A606		生	1	宅地建物と法	本保	A302		生	1	被服構成基礎実習	古田	A304	
			生	1	家庭科指導法（中）	大曲	A603	生	2	総合生活演習	全	A303 A304 A305 A307 A403 A405 A505 A606 A911 A914 A915 B303 B306		生	1	英語Ⅰ(a)	森	A605		生	2	被服構成実習（和裁）	古田	A304		生	2	社会調査論	山野	B304 B305	
			生	2	道徳指導法（中）	新井野	A604							生	2	住宅ﾃﾞｻﾞｲﾝ実習Ⅰ	本保	B306		生	2	社会福祉概論	蜂谷	D206							
														生	2	調理学実習Ⅱ	中尾	A914													
		食物栄養学科	栄	1AB	やさしい生物	吉泉	A608	栄	1A					栄	1A	食品衛生学	逵	A604		栄	1A					栄	1AB	やさしい化学	宮澤	A607	
			栄					栄	1B	情報ﾘﾃﾗｼｰ	平田	B304		栄	1B					栄	1B	給食計画実務論	西川	A404		栄					
			栄	1C	調理学実習Ⅰ	下山	A914	栄	1C	基礎栄養学	赤桐	A605		栄	1C					栄	1C	解剖学	平野	A604		栄	1C	体育実技	竹谷	TA	
			栄	1D	食品学実験Ⅰ	田中	A712	栄	1D					栄	1D	給食計画実務論	西川	A404		栄	1D	体育実技	別所	TA		栄	1D				
			栄	2	ﾌｰﾄﾞｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ論	安原	B403	栄	2A	健康食育論	平野	A804		栄	2	ﾌｰﾄﾞｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ論	安原	B403		栄	2A	公衆栄養学	桑原	A605		栄	2A	栄養教育・指導論実習	本田	A808	
			栄					栄	2B	健康食育論	逵	B305		栄						栄	2B	臨床栄養学実習	今本	A908		栄	2B	食品学実験Ⅱ	下山	A711	
			栄					栄	2C	健康食育論	西川	A604		栄						栄	2C	生化学実験	赤桐	A712		栄	2C	給食運営管理実習Ⅱ	竹内よ	A804 A806 A807	
			栄					栄	2D	健康食育論	田中	A808		栄						栄	2D					栄	2D	臨床栄養学実習	内田	A908	
		幼児教育学科	幼	1	保育の心理学Ⅰ	塚田	B407	幼	1AB	保育内容の指導法（言葉）	三木	A507		幼	1	社会福祉	畠山	A607		幼	1 AB	乳児保育Ⅰ	永井	D203 A402		幼	1AB	保育内容の指導法（健康）	庄司	A402 TS TM	
			幼					幼	1CD	保育内容の指導法（人間関係）	庄司	A407 A402		幼						幼	1C	情報ﾘﾃﾗｼｰ	水島	B303		幼	1CD	子どもの食と栄養Ⅰ	田中	A606 A914	
			幼	2AB	相談援助	畠山	B307	幼	2	児童家庭福祉	畠山	B407		幼	2AB	体育実技	野之上	TA		幼	2	保育ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ	塚田	A607		幼	2AB				
			幼	2CD	食生活基礎技術演習	西川 羽多	A405 A607	幼						幼	2CD	造形表現研究	長谷川	A405 A406		幼						幼	2CD	保育実習指導Ⅱ	永井 川村	A608	
		教養																		全	1・2	英会話	ジェントリ	A603		全	1・2	造形美術Ⅱ	林孝	B303	
																				全	1・2	★防災・防犯入門（10：45～12：15）	未	神戸学院							

授業時間割（前期）

ポートアイランドキャンパス全体版

調整日（臨地実習により授業回数が不足する授業科目の実施日）

区分	時限	月						火						水						木						金					
		学科		学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室
看護学部	Ⅳ	看護学科	看					看	1A	英語Ⅰ－1	バンデン	F301	看					看	1	特別化学	上曽山	F310	看								
			看					看	1B	英語Ⅰ－1	島田	F302	看					看					看								
			看	2	教育課程総論（養教免）	岸本	A606	看	2	養護概説	丸山	F310	看	2	治療看護論	元木	F419 F302	看					看								
			看					看	3	在宅看護論	福山 魚里	F202 F210	看	3	小児療養看護論	菅野	F209 F210	看					看	3	地域看護活動論	小路	F205 F210
			看					看	4	助産管理（助産師）	下敷領	F209 F204	看	4	養護実習指導（養教免）	丸山 岸本 榎元	F301	看	4	医療英語	島田	F302	看	4	養護実習指導（養教免）	丸山 岸本 榎元	F301
健康福祉学部	Ⅳ	社会福祉学科	社					社	1AB				社	1AB	こころとからだのしくみⅠ	横山	D501	社	1AB				社	1AB			
			社	1	情報Ⅰ	平田	D305	社	1C				社	1C	こころとからだのしくみⅠ	横山	D501	社	1C				社	1C			
			社	2AB				社	2AB	社会福祉特講Ⅰ（制度・政策）	津田	D404	社	2AB				社	2AB				社	2AB	社会福祉特講Ⅲ（相談援助）	下司	D403
			社	2C	ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論	横山	C308	社	2C	社会福祉特講Ⅰ（制度・政策）	津田	D404	社	2C	生活支援技術Ⅱ（応用）	木村	C106 C107 C308	社	2C				社	2C	社会福祉特講Ⅲ（相談援助）	下司	D403
			社	3AB	相談援助演習Ⅱ	植戸 冨永 曽田 下司	A402 C309 D204 D406 D407 D408 D409	社	3AB	こころとからだのしくみⅢ	木村	B305	社	3AB	こころとからだのしくみⅠ	横山	D501	社	3AB				社	3AB	精神障害者の生活支援システム	眞野	D404
			社	3C	相談援助演習Ⅱ			社	3C	こころとからだのしくみⅢ	木村	B305	社	3C	こころとからだのしくみⅠ	横山	D501	社	3C				社	3C			
			社	4AB				社	4AB	精神保健福祉援助実習	眞野	D204 D205	社	4AB				社	4AB				社	4AB			
			社	4C	介護総合演習Ⅳ	泉 津田	研究室 D403	社	4C				社	4C	家政学Ⅱ（被服・住居）	上野 古田	C208 C309 A304 A305 A308 A504	社	4C				社	4C			
		健康スポーツ栄養学科	ス	1A				ス	1A	英語Ⅰ-1	ﾗﾎﾟｰｻﾞ	D403	ス	1A	解剖生理学	鈴木	D404	ス	1A				ス	1A			
			ス	1B				ス	1B				ス	1B	食品衛生学	梶原	D403	ス	1B				ス	1B			
			ス	2A	運動生理学Ⅱ（環境生理学を含む）	奥野	D404	ス	2A				ス	2A	*健康食育論	山本	A808	ス	2A				ス	2A	給食計画・実務論	佐藤	C308
			ス	2B	運動生理学Ⅱ（環境生理学を含む）	奥野	D404	ス	2B	解剖生理学実験	奥野 鈴木	A713	ス	2B	*健康食育論	山本	A808	ス	2B				ス	2B			
			ス	3A	教育課程総論（栄教免）	岸本	A606	ス	3A	栄養学実験	梶原 松本	A712	ス	3A	運動生理学実習	奥野	C409	ス	3A				ス	3A	ｽﾎﾟｰﾂ栄養ｸｯｷﾝｸﾞ	坂元	C207 C208
			ス	3B	教育課程総論（栄教免）	岸本	A606	ス	3B	ｽﾎﾟｰﾂ栄養ｸｯｷﾝｸﾞ	坂元	C207 C208	ス	3B	運動生理学実習	奥野	C409	ス	3B				ス	3B	栄養学実験	梶原 松本	A712
			ス	4A				ス	4A	食料経済（食品流通を含む）	池本	B403	ス	4A				ス	4A				ス	4A			
			ス	4B	臨床栄養学実習	松本	C207 C208	ス	4B	食料経済（食品流通を含む）	池本	B403	ス	4B	食品加工学	糸井	A302	ス	4B				ス	4B			
学部共通	Ⅳ	教養	全	1	日本国憲法	笹田	B305	健	1	基礎Ⅰ	横山 中川	D501	全	1	芸術Ⅱ	服部	B305	全	1	芸術Ⅰ	林孝	A303	全	1	言葉と文学Ⅰ	大山	D406 D407
			全	1	数学Ⅱ	浅木森	D206											全	1	哲学	黒瀬	A608	全	1	衣・食・住Ⅰ	梶原 松本	C309
																		健	1	教養総合Ⅰ	松﨑	A607	全	1	現代社会Ⅱ	小沢	D304
																		健	2	教養総合Ⅲ	松﨑	A607					
																		健	3	教養総合Ⅴ	松﨑	A607					
																		健	4	教養総合Ⅶ	松﨑	A607					
神戸女子短期大学	Ⅳ	総合生活学科	生	1	造形学	内山	A603	生	1	ﾒｲｸｱｯﾌﾟ論	遠藤	A303	生	1	教職原論（中）	長瀬	A303	生	1	家庭経営	青木	B403	生	1	製ﾊﾟﾝ・製菓実習	細見	A915
			生	1	製ﾊﾟﾝ・製菓実習	細見	A915	生	1	環境保全論	西尾	A607	生	2	住宅ﾃﾞｻﾞｲﾝ実習Ⅰ	本保	B306	生	2	被服構成実習（和裁）	古田	A304	生	1	被服構成基礎実習	古田	A304
			生	1	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ概論	中川	B407	生	1	教育法規（中）	磯野	A604	生	2	調理学実習Ⅱ	中尾	A914	生	1	動物心理学	安田 宮 枡方 濱崎	A603	生	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	谷山	A605
			生	2	ﾌｰﾄﾞｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの基礎	安原	A307											生	2	プロジェクト演習	福井	B304 B307	生	2	消費生活論	秋末	A606
			生	2	教育課程論（中）	吉泉	A303																								
		食物栄養学科	栄	1A	情報ﾘﾃﾗｼｰ	水島	B303	栄	1A				栄	1A				栄	1A	給食計画実務論	西川	A404	栄	1A	調理学	竹内 み	A604
			栄	1B	食品衛生学	逵	A604	栄	1B				栄	1B				栄	1B				栄	1B			
			栄	1C	調理学実習Ⅰ	下山	A914	栄	1C	情報ﾘﾃﾗｼｰ	平田	B304	栄	1C				栄	1C				栄	1CD	やさしい化学	宮澤	A607
			栄	1D	食品学実験Ⅰ	田中	A712	栄	1D				栄	1D				栄	1D	調理学	竹内 み	A604	栄				
			栄	2A	臨床栄養学実習	今本	A908	栄	2	食料経済	池本	B403	栄	2A	生化学実験	赤桐	A712	栄	2A				栄	2A	栄養教育・指導論実習	本田	A808
			栄	2B	公衆栄養学	林宏	A605	栄					栄	2B				栄	2B	臨床栄養学実習	今本	A908	栄	2B	食品学実験Ⅱ	下山	A711
			栄	2C	栄養教育・指導論	本田	A808	栄					栄	2C				栄	2C	生化学実験	赤桐	A712	栄	2C	給食運営管理実習Ⅱ	竹内よ	A804 A806 A807
			栄	2D	臨床医学概論	平田 石田	B307	栄					栄	2D	食品学実験Ⅱ	田中	A711	栄	2D	公衆栄養学	桑原	A605	栄	2D	臨床栄養学実習	内田	A908
		幼児教育学科	幼	1AB	体育講義	杉山	B403	幼	1AB				幼	1AB	英語Ⅰ(a)	森	A605	幼	1AB				幼	1	教育原理	吉泉	A608
			幼	1CD	体育講義	杉山	B403	幼	1CD				幼	1D	情報ﾘﾃﾗｼｰ	水島	B303	幼	1CD	英語Ⅰ(a)	久保	A606	幼				
			幼	2AB	食生活基礎技術演習	西川 羽多	A405 A607	幼	2AB	保育内容の指導法C	別所	A608 TA TM TS	幼	2AB	保育の心理学Ⅱ	塚田	A608	幼	2	学科特別演習Ⅰ	全	A302 A307 A402 A405 A406 A407 A502 A503 A504 A505 A507 B303 TA TS TM	幼					
			幼	2CD				幼	2CD				幼	2CD	体育実技	野之上	TA	幼					幼				
		教養	全	1・2	日本の伝統文化	長谷川	A404	全	1・2	ﾌﾗﾝｽ語Ⅰ	吉川	A603	全	1・2	英語Ⅱ(a)	谷山	B307	全	1・2	異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	谷山	B305					
			全	2	体育講義	杉山	B403	全	1・2	ｲﾀﾘｱ語Ⅰ	吉冨	A504	全	1	ｷｬﾘｱへのｱﾌﾟﾛｰﾁⅠ	中川 上野 福井	B403 B407										
			全	1・2	生命科学	森本	A608	全	1・2	中国語Ⅰ	柴田	D206															
			全	1・2	英語Ⅱ(a)	上野	A302	全	1・2	日本語入門	武藤	B407															

授業時間割（前期）

ポートアイランドキャンパス全体版

調整日（臨地実習により授業回数が不足する授業科目の実施日）

区分	時限	月					火					水					木					金				
		学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室
看護学部	V	看護学科	看				看					看					看	1	教職論（養教免）	岸本	D403	看	1	人体のしくみと機能Ⅰ	加堂	F210
			看				看					看	2	教育相談（養教免）	谷山	D304	看					看				
健康福祉学部	V	社会福祉学科	社	1AB			社	1AB				社	1AB				社	1AB				社	1AB			
			社	1C			社	1C				社	1C				社	1C				社	1C			
			社	2AB			社	2AB	英語Ⅱ-1	深井	A302	社	2AB				社	2AB				社	2AB			
			社	2C			社	2C	英語Ⅱ-1	深井	A302	社	2C				社	2C				社	2C			
			社	3AB			社	3AB	精神保健の課題と支援Ⅰ	殿村	D404	社	3AB				社	3AB				社	3AB			
			社	3C			社	3C				社	3C				社	3C				社	3C			
			社	4AB			社	4AB	精神科ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学	奥山	D204 D205	社	4AB				社	4AB				社	4AB			
			社	4C	ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論	横山	C309	社	4C				社	4C	家政学Ⅱ（被服・住居）	上野 古田	C208 C309 A304 A305 A308 A504	社	4C				社	4C			
		健康スポーツ栄養学科	ス	1A	生涯スポーツ科学（スポーツ心理学を含む）	奥野	D404	ス	1A			ス	1A	*栄養を中心とした化学Ⅰ	吉川	D501	ス	1A	教職論（栄教免）	岸本	D403	ス	1A			
			ス	1B	生涯スポーツ科学（スポーツ心理学を含む）	奥野	D404	ス	1B			ス	1B	*栄養を中心とした化学Ⅰ	吉川	D501	ス	1B	教職論（栄教免）	岸本	D403	ス	1B			
			ス	2A				ス	2A	英語Ⅱ－１	山下	C309	ス	2A				ス	2A				ス	2A			
			ス	2B				ス	2B	解剖生理学実験	奥野 鈴木	A713	ス	2B				ス	2B				ス	2B			
			ス	3A				ス	3A	専門演習Ⅰ	重福 松本 糸井	研究室 C406	ス	3A	教育相談（栄教免）	谷山	D304	ス	3A				ス	3A			
			ス	3B				ス	3B	専門演習Ⅰ	重福 松本 糸井	研究室 C406	ス	3B	教育相談（栄教免）	谷山	D304	ス	3B				ス	3B	栄養情報処理演習	松本	D305
			ス	4A				ス	4A				ス	4A	卒業論文	重福 佐藤	研究室 C403 C406	ス	4A				ス	4A			
			ス	4B	臨床栄養学実習	松本	C207 C208	ス	4B				ス	4B	卒業論文	重福 佐藤	研究室 C403 C406	ス	4B				ス	4B			
学部共通	V	教養	全	1	自然と環境Ⅱ	村田	D304	全	1	ﾄﾞｲﾂ語Ⅰ-1	毛利	D304	全	1	神戸学	今井・梶木・来海・小沢・十一・林利・武藤	D403	全	1	女性Ⅲ	梶原松本 栗原泉鈴 木平田	D304				
			看	1	スポーツと健康の科学	重福	D501	全	1	ﾌﾗﾝｽ語Ⅰ-1	竹垣	A603														
			健	2	スポーツと健康の科学	重福	D501	全	1	中国語Ⅰ-1	柴田	D206	健	1	★健康づくり・生活支援入門	奥野	兵庫医療									
			健	1	外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	山下	C308	全	1	朝鮮語Ⅰ-1	鄭	B307	看	1	教養英語Ⅱ－１	山下	A302									
			健					全	1	ｲﾀﾘｱ語Ⅰ-1	吉冨	A504	健	2	教養英語Ⅱ－１	山下	A302									
			健					健	1	外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	バンデン	C308														
神戸女子短期大学	V	総合生活学科	生	1	ＣＧ演習Ⅰ	林孝	B303	生	2	中国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	森川	A303	生	1	教育原理（中）	吉泉	A604	生	1	被服学	古田	A603	生	1	生徒指導論（中）	宮澤	A607
			生					生					生					生					生				
			生					生					生					生					生				
		食物栄養学科	栄	1				栄	1				栄	1	教育原理（栄教）	吉泉	A604	栄					栄	1			
			栄					栄																		
			栄					栄																		
			栄					栄																		
			栄	2A	臨床栄養学実習	今本	A908	栄	2				栄	2A	生化学実験	赤桐	A712	栄	2A				栄	2	教育課程論（栄教）	吉泉	A603
			栄	2B	臨床医学概論	平田 石田	B307	栄					栄	2B				栄	2B								
			栄	2C	公衆栄養学	林宏	A605	栄					栄	2C				栄	2C								
			栄	2D	英語Ⅰ(a)	上野	A302	栄					栄	2D	食品学実験Ⅱ	田中	A711	栄	2D								
		幼児教育学科	幼	1A	情報ﾘﾃﾗｼｰ	水島	B304	幼					幼	1	保育原理	川村	B407	幼	1	教育課程論	三木	B407	幼	1	保育者論	川村	A608
			幼					幼					幼					幼					幼				
			幼					幼	2AB				幼	2	保育実習指導Ⅲ	畠山	A505	幼					幼				
			幼					幼	2CD	保育内容の指導法C	別所	A608 TA TM TS	幼					幼					幼				
		教養	全	1・2	食事学	中尾 本田 竹内み	A608	全	1・2	日本国憲法	七野	B403	全	1・2	造形美術Ⅰ	羽多	A407	全	1・2	音楽鑑賞	廣田	A507	全	1・2	心理学	長瀬	B403
			全										全	1・2	★健康づくり・生活支援入門（17:00～18:30）	奥野	兵庫医療									

集中講義等					
学科	学年	科目名	担当	教室	日程
全	1	地域学習	福山・冨永・奥野	別途	別途指示
全	34	★地域連携ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟⅠ	未	神戸学院	土曜Ⅰ限（9：00～10：30）初回のみ授業・第2回目以降は各自プログラムに参加
看	1	医療看護実習Ⅰ	玉木・横内・馬場・大谷・藤原・元木・牛越・奥井・鷲田	F310 F305～309	別途指示
看	3	医療看護実習Ⅱ（急性期）	横内・藤原・藤田	F310 F305～309	別途指示
看	3	医療看護実習Ⅱ（慢性期）	横内・藤原・元木・奥井・鷲田	F310 F305～309	別途指示
看	3	成育看護実習Ⅱ（小児）	内・菅野・丸山・西方	F310 F305～309	別途指示
看	3	成育看護実習Ⅱ（母性）	下敷領・田村・牛越・岡本	F310 F305～309	別途指示
看	4	国際保健	倉田	F102	4月下旬
看	4	公衆衛生看護活動論実習（保健師）	魚里・馬場・小路・溝畑・小林・美濃	F204	別途指示
看	4	公衆衛生看護管理論実習（保健師）	魚里・小路・溝畑・小林・美濃	F204	別途指示
看	4	助産学実習（助産師）	下敷領・田村・牛越・岡本	F209 F204	別途指示
看	4	総合実習（地域・在宅）	全員（宇賀・美濃除く）	F310 F305～309	別途指示
看	4	課題探究	全員（宇賀・助教除く）	F310 F305～309	別途指示
全	3	人権教育（養教免）（栄教免）	田中	B307	別途指示

TA:体育ホールアリーナ
TM:体育ホールマシンジム
TS:体育ホールスタジオ

授業時間割（後期）

ポートアイランドキャンパス全体版

調整日（臨地実習により授業回数が不足する授業科目の実施日）

区分	時限	月					火					水					木					金				
		学科	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室
看護学部	Ⅰ	看護学科	看					看	1A	英語Ⅰ-2	バンデン	F301	看	1	道徳教育の理論と実践（養教免）	田中美	C309	看	1A	情報Ⅱ	清光	F311	看	1	食品学総論	吉川	F210
			看					看	1B	英語Ⅰ-2	島田	F302	看					看					看				
			看	2	精神看護支援技術演習	玉木 大谷	F419 F310	看	2	ｺﾐｭﾆﾃｨﾍﾙｽｹｱ看護技術演習Ⅱ	藤田 魚里 馬場 川喜田 福山	F417 F310	看	2	小児看護論	内	F209 F210	看	2	疾病と治療Ⅴ	山崎	F302	看	2	ｺﾐｭﾆﾃｨﾍﾙｽｹｱ看護技術演習Ⅱ	藤田 魚里 馬場 川喜田 福山	F417 F310
			看	2①	感染免疫学（9～15回目）	宇賀	F205	看	2①	感染免疫学（9～15回目）	宇賀	F205	看					看	2①	栄養代謝学（9～15回目）	加堂	F205	看	2①	栄養代謝学（9～15回目）	加堂	F205
			看	2②	感染免疫学（9～15回目）	宇賀	F205	看	2②	感染免疫学（9～15回目）	宇賀	F205	看					看	2②	栄養代謝学（9～15回目）	加堂	F205	看	2②	栄養代謝学（9～15回目）	加堂	F205
			看	3	学校保健Ⅰ	丸山	F210	看	3	こころの健康増進と看護（1回）	玉木	F210	看	3	老年看護実践方法論	川喜田	F310	看	3	公衆衛生看護活動論Ⅰ（1回）	小路	F202 F301	看	3	助産診断技術論（1回）	牛越	F209 F204
			看	3	学校保健Ⅱ	丸山	F210	看	3	看護情報学（1回）	東	F210	看					看	3	予防看護論（1回）	馬場	F417 F310	看	3	公衆衛生看護活動論Ⅱ（1回）	魚里	F202 F102
			看					看	3	社会福祉・社会活動論（1回）	松﨑	F210	看					看	3	学校保健Ⅰ（1回）	丸山	F210					
			看					看	4	教職実践演習（養護教諭）	丸山 岸本 榎元	F102	看					看	3	学校保健Ⅱ（3回）	丸山	F210	看	4	健康相談活動	丸山	F301
健康福祉学部	Ⅰ	社会福祉学科	社	1AB				社	1AB				社	1AB				社	1AB	こころとからだのしくみⅡ	横山	C308	社	1AB			
			社	1C				社	1C	介護過程総論	横山	C308 D305	社	1C	生活支援技術Ⅰ（基礎）	木村	C106 C107 C308	社	1C	こころとからだのしくみⅡ	横山	C308	社	1C			
			社	2AB				社	2AB				社	2AB	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅱ	曽田	D501	社	2AB				社	2AB			
			社	2C				社	2C	介護総合演習Ⅲ	津田 泉	D406 D407	社	2C	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅱ	曽田	D501	社	2C	在宅支援方法論	木村	C309 C105 C106 C107	社	2C			
			社	3AB	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	眞野	C308	社	3AB	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	瀧本	D404	社	3AB				社	3AB	相談援助実習指導Ⅲ	植戸 冨永 清水 曽田 松﨑 下司 小笠原	研究室 D404 D406 D407 D408 D409	社	3AB	権利擁護と成年後見制度	小笠原	D403
			社	3C				社	3C				社	3C	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ論	鈴木	A604	社	3C	相談援助実習指導Ⅲ			社	3C	権利擁護と成年後見制度	小笠原	D403
			社	4AB				社	4AB				社	4AB				社	4AB				社	4AB			
			社	4C				社	4C				社	4C				社	4C				社	4C			
		健康スポーツ栄養学科	ス	1A				ス	1A	生化学	吉川	D304						ス	1A				ス	1A			
			ス	1B				ス	1B				ス	1B	栄養教育・指導論Ⅰ	山本	A808	ス	1B	食品学総論	吉川	D304	ス	1B	食品衛生学実験	柳田	A711
			ス	2A	栄養教育・指導論実習	山本	A808	ス	2A	応用栄養学実習	松浦	C207 C208	ス	2A	ｽﾎﾟｰﾂ医学	鈴木	D404	ス	2A	応急手当実習	鈴木	D104	ス	2A	スポーツ栄養情報処理演習	坂元	D305
			ス	2B	応用栄養学実習	松浦	A809	ス	2B	栄養教育・指導論実習	山本	A808	ス	2B	公衆栄養学概論	田中	D304	ス	2B				ス	2B			
			ス	3A	スポーツ栄養指導実習	坂元 奥野	C409	ス	3A	専門演習Ⅱ	梶原 奥野 鈴木 山下 重福 松本 坂元	研究室 C409 D305	ス	3A	道徳教育の理論と実践（栄教免）	田中美	C309	ス	3A	公衆栄養学実習	田中	D305	ス	3A			
			ス	3B	スポーツ栄養指導実習	坂元 奥野	C409	ス	3B	専門演習Ⅱ			ス	3B	道徳教育の理論と実践（栄教免）	田中美	C309	ス	3B				ス	3B			
			ス	4A	障害者とスポーツ	奥野 植戸 松﨑 重福	D404	ス	4A				ス	4A				ス	4A	卒業論文	奥野 重福 佐藤 松浦	研究室 C403 C406	ス	4A	食品加工学実習	糸井	A915
			ス	4B	障害者とスポーツ		D404	ス	4B	食品加工学実習	糸井	A915	ス	4B	応用調理学実習Ⅱ	糸井	C207 C208	ス	4B	卒業論文	奥野 重福 佐藤 松浦	研究室 C403 C406	ス	4B			
学部共通	Ⅰ	教養	全	1	心とからだの健康	重福他	D501	全	1	教養総合Ⅱ	大山	D501	健	1～4	★健康生活支援指導論実習（9：30～11：00）	賀屋	兵庫医療										
								全	2	教養総合Ⅳ	大山	D501															
								全	3	教養総合Ⅵ	大山	D501															
								全	4	教養総合Ⅷ	大山	D501															
神戸女子短期大学	Ⅰ	総合生活学科	生	1	ｲﾝﾃﾘｱ設計製図	本保	B306	生	1	情報基礎演習	浅木森	B303	生	1	家族関係	中川	B407	生	1	ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙﾌﾟﾗﾝﾅｰⅡ	細見	A303	生	1	秘書実務Ⅰ	中川	A307
			生	1	秘書実務Ⅰ	福井	A307	生	1	ﾃﾞｻﾞｲﾝ論	林孝	B403	生	1	調理学実習Ⅰ	中尾	A914	生	1	子ども心理学	塚田	A605	生	2	ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ論	小泉	A606
								生	2	教育相談の理論・方法（中）	塚田	A303	生	1	生活情報技術	浅木森	B304	生									
													生	2	ﾈｲﾙｱｰﾄ演習Ⅱ	増田	A406	生									
													生	2	ﾌｰﾄﾞｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ論	安原	D206										
		食物栄養学科	栄	1A	給食運営管理実習Ⅰ	西川	A806 A804 A807	栄	1A	基礎食品学	下山	A404	栄	1A				栄	1A	食品衛生学実験	逵	A711	栄	1A	調理学実習Ⅱ	下山	A914
			栄	1B	調理学実習Ⅱ	下山	A908	栄	1B	栄養情報処理演習	後藤	B304	栄	1B				栄	1B	給食運営管理実習Ⅰ	西川	A806 A804 A807	栄	1B	生化学実験	赤桐	A712
			栄	1C	生化学	平野	A603	栄	1C	食品衛生学実験	逵	A711	栄	1C				栄	1C				栄	1C			
			栄	1D				栄	1D	給食運営管理実習Ⅰ	竹内よ	A806 A804 A807	栄	1D	応用栄養学	本田	A605	栄	1D	調理学実習Ⅱ	竹内み	A809	栄	1D	栄養情報処理演習	後藤	B304
			栄	2A				栄	2A	栄養学実習Ⅱ	今本 坂本 中村	A908 B305	栄	2A				栄	2A	社会福祉論	蜂谷	A603	栄	2A	ｸﾘｴｰﾃｨﾌﾞｸｯｷﾝｸﾞ	本田	A808 A908
			栄	2B	解剖生理学実習	森沢	A713	栄	2B	栄養学実習Ⅰ	竹内み	A809	栄	2B	ｸﾘｴｰﾃｨﾌﾞｸｯｷﾝｸ	竹内み	A908	栄	2B	英語Ⅰ(b)	上野	D206	栄	2B			
			栄	2C	ｸﾘｴｰﾃｨﾌﾞｸｯｷﾝｸ	竹内み	A914	栄	2C				栄	2C	食品学実験Ⅱ	田中	A712	栄	2C	栄養学実習Ⅱ	今本 坂本 中村	A607 A908	栄	2C			
			栄	2D	臨床栄養学	今本	A404	栄	2D	社会福祉論	蜂谷	A604	栄	2D	解剖生理学実習	森沢	A713	栄	2D	栄養学実習Ⅰ	早川	A914	栄	2D	応用食品学	田中	A603
		幼児教育学科	幼	1AB	保育内容の指導法（表現）	羽多	A406 A407	幼	1AB	保育実習指導Ⅰ（事前）	永井 畠山 川村	A607	幼	1	子どもの保健Ⅱ	谷口	A608	幼	1AB	音楽（器楽）B	廣田 宮永 広谷 角間 高橋 東 成瀬 田中 城田 村林 河本	A502 A503 A506 A507	幼	1	教育心理学	長瀬	A607
			幼	1C	教育情報処理演習	水島	B303																				
			幼	1D	体育	別所	A604 TA TS TM	幼	1CD	保育実習指導Ⅰ（事前）	永井 畠山 川村	A608	幼					幼	1CD	音楽（歌唱）B	宮内 貞清	A504 A505	幼				
			幼	2AB	保育相談支援	永井	A607	幼	2	生活	吉泉	A606	幼	2	教育相談の理論・方法	塚田	A607	幼	2AB				幼	2AB			
			幼	2CD	伴奏法	廣田 貞清 東	A504 A505 A507	幼					幼					幼	2CD				幼	2CD			
		教養												1・2	★健康生活支援指導論実習（9：30～11：00）	賀屋	兵庫医療						全	1・2	体育実技	野之上	TA TS TM

授業時間割（後期）

ポートアイランドキャンパス全体版

調整日（臨地実習により授業回数が不足する授業科目の実施日）

区分	時限	学科	月					火					水					木					金				
			学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室
看護学部	Ⅱ	看護学科	看	1	生活援助論	馬場	F417 F301	看	1A	英語Ⅱ－2	バンデン	F301	看					看					看				
			看					看	1B	英語Ⅱ－2	深井	F302	看					看	1B	情報Ⅱ	清光	F311	看				
			看	2	精神看護支援技術演習	玉木 大谷	F419 F310	看	2	ｺﾐｭﾆﾃｨﾍﾙｽｹｱ看護技術演習Ⅱ	藤田 魚里 馬場 川喜田 福山	F417 F310	看	2	小児看護論	内	F209 F210	看	2	成育看護技術演習Ⅰ	内 菅野 下敷領 田村 牛越	F209 F210	看	2	ｺﾐｭﾆﾃｨﾍﾙｽｹｱ看護技術演習Ⅱ	藤田 魚里 馬場 川喜田 福山	F417 F310
			看	2①	感染免疫学（9～15回目）	宇賀	F205	看	2①	感染免疫学（9～15回目）	宇賀	F205	看					看	2①	栄養代謝学（9～15回目）	加堂	F205	看	2①	栄養代謝学（9～15回目）	加堂	F205
			看	2②	感染免疫学（9～15回目）	宇賀	F205	看	2②	感染免疫学（9～15回目）	宇賀	F205	看					看	2②	栄養代謝学（9～15回目）	加堂	F205	看	2②	栄養代謝学（9～15回目）	加堂	F205
			看	3	学校保健Ⅰ	丸山	F210	看	3	こころの健康増進と看護	玉木	F210	看	3	老年看護実践方法論	川喜田	F310	看	3	公衆衛生看護活動論Ⅰ	小路	F202 F301	看	3	助産診断技術論（助産師）	牛越	F209 F204
			看	3	学校保健Ⅱ	丸山	F210	看	4	教職実践演習（養護教諭）	丸山 岸本 榎元	F102	看					看					看	4	健康相談活動	丸山	F301
健康福祉学部	Ⅱ	社会福祉学科	社	1AB	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	冨永	D501	社	1AB	教養英語Ⅰ-2	島田	A302	社	1AB				社	1AB	社会福祉演習Ⅰ	泉木村下 司清水曽 田冨永松 崎眞野津 田植戸横 山小笠原	研究室 C308 D204 D408 D409	社	1AB	現代社会と福祉Ⅱ	冨永	D501
			社	1C	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	冨永	D501	社	1C	教養英語Ⅰ-2	島田	A302	社	1C	生活支援技術Ⅰ（基礎）	木村	C106 C107 C308	社	1C	社会福祉演習Ⅰ			社	1C	現代社会と福祉Ⅱ	冨永	D501
			社	2AB	精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ	眞野	C308	社	2AB				社	2AB	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	清水	D403	社	2AB				社	2AB	地域福祉の理論と方法Ⅱ	小笠原	D403
			社	2C	介護総合演習Ⅱ	泉 津田	研究室 C309 D406 D407	社	2C				社	2C	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	清水	D403	社	2C				社	2C	地域福祉の理論と方法Ⅱ	小笠原	D403
			社	3AB				社	3AB	社会福祉演習Ⅱ	泉植戸木 村下司清 水冨永曽 田松﨑眞 野津田横 山小笠原	研究室 D204 D406 D407	社	3AB				社	3AB				社	3AB	社会調査の基礎	湯川	B403
			社	3C	介護過程演習Ⅱ	横山	D304 D305	社	3C	社会福祉演習Ⅱ			社	3C				社	3C				社	3C	社会調査の基礎	湯川	B403
			社	4AB				社	4AB				社	4AB				社	4AB				社	4AB			
			社	4C				社	4C				社	4C				社	4C				社	4C			
		健康スポーツ栄養学科	ス	1A				ス	1A	英語Ⅰ-2	ﾗﾎﾟｰｻﾞ	C308	ス					ス	1A	基礎演習Ⅱ	奥野佐藤 松本松浦 坂元吉川 重福山本	研究室 A608 D206 D304 D404 D406 D407	ス	1A	情報Ⅱ	竹田	D305
			ス	1B				ス	1B	生化学	吉川	D304	ス					ス	1B	基礎演習Ⅱ			ス	1B	食品衛生学実験	柳田	A711
			ス	2A	栄養教育・指導論実習	山本	A808	ス	2A	応用栄養学実習	松浦	C207 C208	ス	2A	公衆栄養学概論	田中	D304	ス	2A	生活習慣病と食生活	鈴木	D403	ス	2A	世界の食生活と健康	梶原 松本	D404
			ス	2B	応用栄養学実習	松浦	A809	ス	2B	栄養教育・指導論実習	山本	A808	ス	2B	英語Ⅱ-2	山下	D404	ス	2B	生活習慣病と食生活	鈴木	D403	ス	2B	世界の食生活と健康	梶原 松本	D404
			ス	3A	スポーツ栄養指導実習	坂元 奥野	C409	ス	3A	公衆衛生学	鈴木	D403	ス	3A	学校栄養教育論（栄教免）	安田 阿部 大曲	C309	ス	3A	公衆栄養学実習	田中	D305	ス	3A	専門演習Ⅱ	佐藤 吉川 松浦	研究室 C403 C406
			ス	3B	スポーツ栄養指導実習	坂元 奥野	C409	ス	3B				ス	3B	学校栄養教育論（栄教免）	安田 阿部 大曲	C309	ス	3B				ス	3B	専門演習Ⅱ	佐藤 吉川 松浦	研究室 C403 C406
			ス	4A	卒業論文	梶原 鈴木 山下 松本	研究室	ス	4A				ス	4A				ス	4A				ス	4A	食品加工学実習	糸井	A915
			ス	4B	卒業論文	梶原 鈴木 山下 松本	研究室	ス	4B	食品加工学実習	糸井	A915	ス	4B	応用調理学実習Ⅱ	糸井	C207 C208	ス	4B				ス	4B			
学部共通	Ⅱ	教養																看	1	教養英語Ⅱ－２	山下	C309					
																		健	2	教養英語Ⅱ－２	山下	C309					
神戸女子短期大学	Ⅱ	総合生活学科	生	1	栄養学	細見	B407	生	1	基礎ゼミ	全	A303 A304 A307 A404 A405 A504 A608 A911 A914 B303 B306	生	1	住まいの構法	本保	B306	生	1	被服材料学	古田	A605	生	1	繊維学実験法	古田	A605 A308
			生	1	ｲﾝﾃﾘｱ設計製図	本保	B306						生	1	調理学実習Ⅰ	中尾	A914	生	1	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習Ⅱ	福井	B304 B307	生	1	秘書実務Ⅱ	中川	A307
			生	1	秘書実務Ⅱ	福井	A307						生	1	ビューティ心理学	遠藤	B403	生	1	ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ概論	平山	D206	生	1	実践資格英語Ⅱ	谷山	A606
													生	1	教育実習指導（中）	古田	A404	生	2	ﾌｧｯｼｮﾝﾋﾞｼﾞﾈｽ論	佐久間	A303	生	1	健康管理概論	服部	A604
								生	2	住居計画学	井田	A603	生	2	食生活論	安原	D206	生	2	ﾗｲﾌｽﾃｰｼﾞ栄養学	中尾	B305	生	2	住まいの材料	堀川	B307
								生	2	スポーツ心理学	奥野	A607	生	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	福井	B307	生	2	住環境心理学	本保	A604	生	2	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾈｯﾄﾜｰｸ概論	浅木森	B303
		食物栄養学科	栄	1A	給食運営管理実習Ⅰ	西川	A806 A804 A807	栄	1A	栄養情報処理演習	後藤	B304	栄	1A				栄	1A	食品衛生学実験	逵	A711	栄	1A	調理学実習Ⅱ	下山	A914
			栄	1B	調理学実習Ⅱ	下山	A908	栄	1B	生化学	平野	A605	栄	1B	応用栄養学	本田	A605	栄	1B	給食運営管理実習Ⅰ	西川	A806 A804 A807	栄	1B	生化学実験	赤桐	A712
			栄	1C	応用栄養学	本田	A605	栄	1C	食品衛生学実験	逵	A711	栄	1C				栄	1C	栄養ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ論	小上	A302	栄	1C	栄養情報処理演習	後藤	B304
			栄	1D	生化学	平野	A603	栄	1D	給食運営管理実習Ⅰ	竹内よ	A806 A804 A807	栄	1D	生理学	平野	A603	栄	1D	調理学実習Ⅱ	竹内み	A809	栄	1D			
			栄	2A	応用食品学	田中	A604	栄	2A	栄養学実習Ⅱ	今本 坂本 中村	A908 B305	栄	2A				栄	2A	英語Ⅰ(b)	上野	A606	栄	2A	ｸﾘｴｰﾃｨﾌﾞｸｯｷﾝｸﾞ	本田	A808 A908
			栄	2B	解剖生理学実習	森沢	A713	栄	2B	栄養学実習Ⅰ	竹内み	A809	栄	2B	ｸﾘｴｰﾃｨﾌﾞｸｯｷﾝｸﾞ	竹内み	A908	栄	2B	社会福祉論	蜂谷	A603	栄	2B			
			栄	2C	ｸﾘｴｰﾃｨﾌﾞｸｯｷﾝｸ	竹内み	A914	栄	2C	社会福祉論	蜂谷	A604	栄	2C	食品学実験Ⅱ	田中	A712	栄	2C	栄養学実習Ⅱ	今本 坂本 中村	A607 A908	栄	2C	応用食品学	田中	A603
			栄	2D	英語Ⅰ(b)	上野	D206	栄	2D				栄	2D	解剖生理学実習	森沢	A713	栄	2D	栄養学実習Ⅰ	早川	A914	栄	2D			
		幼児教育学科	幼	1A	体育	別所	A505 TA TS TM	幼	1B	体育	別所	A505 TA TM TS	幼	1AB	子どもの保健演習	谷口	A402	幼	1AB	音楽（歌唱）B	宮内 貞清	A504 A505	幼	1AB	保育内容の指導法（環境）	庄司	A402
			幼	1B	教育情報処理演習	水島	B303	幼	1CD	教育実習指導	三木 庄司 塚田	B403 B407	幼	1CD	英語Ⅰ(b)	久保	A606	幼	1CD	音楽（器楽）B	廣田 宮永 瓜谷 角南 高橋 東 成瀬 田中 城市 村林 河本	A502 A503 A506 A507	幼	1CD	保育内容の指導法A	三木	B407 TS TM
			幼	1CD	保育内容の指導法（表現）	羽多	A406 A407	幼																			
			幼	2AB	伴奏法	廣田 貞清 東	A504 A505 A507	幼	2AB	子どもの遊びと文化	長谷川	A407	幼	2	国語	吉泉	A608	幼	2AB				幼	2CD	障害児保育Ⅱ	永井	A607
			幼	2CD	保育相談支援	永井	A607	幼	2CD									幼	2CD				幼				
		教養																					全				

授業時間割（後期）

ポートアイランドキャンパス全体版

調整日（臨地実習により授業回数が不足する授業科目の実施日）

区分	時限	月					火					水					木					金				
		学科	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室
看護学部	Ⅲ	看護学科	看	1B	教養英語Ⅰ-2	山下	F301	看					看					看	1	公衆衛生学	宇賀	F302	看	1	教育社会学（養教免）	保田	C309
			看	2	母性看護論	田村	F209 F210	看	2	感染免疫学（1～8回目）	宇賀	F301	看	2	生徒指導論（栄教・養教）	榎元	C309	看	2	成育看護技術演習Ⅰ	内 菅野 下敷領 田村 牛越	F209 F210	看	2	栄養代謝学（1～8回目）	加堂	F210
			看	3	社会福祉・社会活動論	松﨑	F310	看	3	看護情報学	東	F205 F210	看	3	老年看護実践方法論（1回）	川喜田	F310	看	3	公衆衛生看護活動論Ⅰ	小路	F202 F301	看	3	助産診断技術論（助産師）	牛越	F209 F204
			看					看					看	3	保健統計学（1回）	宇賀	F310	看					看				
			看					看					看					看	4	看護倫理	野並 藤田 玉木 下敷領 菅野	F310	看				
健康福祉学部	Ⅲ	社会福祉学科	社	1AB				社	1AB	英語Ⅰ-2	バンデン	C308	社	1AB				社	1AB	社会理論と社会ｼｽﾃﾑ	猪股	D403	社	1AB			
			社	1C				社	1C	英語Ⅰ-2	島田	A604	社	1C	介護の基本Ⅱ	泉	D403	社	1C	社会理論と社会ｼｽﾃﾑ	猪股	D403	社	1C			
			社	2AB	精神疾患とその治療Ⅰ	酒井	D403	社	2AB	認知症の理解Ⅱ	泉	D403	社	2AB	障害者に対する支援と障害者自立支援制度Ⅱ	植戸	D501	社	2AB	相談援助実習指導Ⅰ	清水他	D404	社	2AB	発達心理学	下司	D501
			社	2C				社	2C	認知症の理解Ⅱ	泉	D403	社	2C	障害者に対する支援と障害者自立支援制度Ⅱ	植戸	D501	社	2C	相談援助実習指導Ⅰ	清水他	D404	社	2C	発達心理学	下司	D501
			社	3AB	相談援助演習Ⅲ	植戸 冨永 曽田 下司	C309 D204 D206 D406 D407 D408 D409	社	3AB	社会保障Ⅱ	清水	D501	社	3AB				社	3AB				社	3AB	精神保健福祉援助演習（専門）Ⅰ	眞野	D204 D205
			社	3C	相談援助演習Ⅲ			社	3C	社会保障Ⅱ	清水	D501	社	3C				社	3C				社	3C	生活支援技術Ⅳ（個別介護技術）	津田	C106 C107 C308
			社	4AB				社	4AB	精神保健福祉援助実習	眞野	D204 D205	社	4AB				社	4AB				社	4AB			
			社	4C	家政学Ⅰ（栄養・調理）	松浦	C207 C208	社	4C				社	4C				社	4C				社	4C			
		健康スポーツ栄養学科	ス	1A	運動生理学Ⅰ	奥野	C308	ス	1A	教養英語Ⅰ-2	山下	D304	ス	1A	栄養教育・指導論Ⅰ	山本	A808	ス	1A	*食を中心とした生物Ⅱ	吉川	D501	ス	1A	食品衛生学実験	柳田	A711
			ス	1B	教養英語Ⅰ-2	山下	D206	ス	1B	英語Ⅰ-2	ﾗﾎﾞｰｻﾞ	C309	ス	1B	運動生理学Ⅰ	奥野	D304	ス	1B	*食を中心とした生物Ⅱ	吉川	D501	ス	1B	情報Ⅱ	竹田	D305
			ス	2A	英語Ⅱ-2	ﾗﾎﾞｰｻﾞ	A303	ス	2A				ス	2A	給食運営管理実習	佐藤	A804 A806 A807	ス	2A	機能運動論	奥野	B403	ス	2A	生化学実験	吉川	A712
			ス	2B	スポーツ医学	鈴木	D304	ス	2B				ス	2B	生化学実験	吉川	A712	ス	2B	機能運動論	奥野	B403	ス	2B	給食運営管理実習	佐藤	A804 A806 A807
			ス	3A	食生活論	佐藤	D404 D305	ス	3A	専門演習Ⅱ	山本 糸井	研究室	ス	3A	生徒指導論（栄教・養教）	榎元	C309	ス	3A				ス	3A	教育社会学（栄教免）	保田	C309
			ス	3B	食生活論	佐藤	D404 D305	ス	3B	専門演習Ⅱ			ス	3B	生徒指導論（栄教・養教）	榎元	C309	ス	3B	公衆栄養学実習	田中	D305	ス	3B	教育社会学（栄教免）	保田	C309
			ス	4A	卒業論文	坂元	研究室 C406	ス	4A	災害時の食事・栄養管理実習	松浦	A809	ス	4A	応用調理学実習Ⅱ	糸井	C207 C208	ス	4A	食環境論演習	松本	D304	ス	4A			
			ス	4B	卒業論文	坂元	研究室 C406	ス	4B	災害時の食事・栄養管理実習	松浦	A809	ス	4B				ス	4B	食環境論演習	松本	D304	ス	4B			
学部共通	Ⅲ	教養	社	1	情報Ⅱ	平田	B303	看	1	外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	深井	F310															
								看	1	ドイツ語会話Ⅰ	毛利	D404	全	1	女性Ⅱ	小河	D404						全	1	現代社会Ⅲ	内藤	D403
								看	1	中国語会話Ⅰ	柴田	D206	全	1	女性Ⅳ	松田	C308										
								看	1	朝鮮語会話Ⅰ	鄭	B307															
								看	1	フランス語会話Ⅰ	竹垣	A606															
								看	1	イタリア語会話Ⅰ	吉冨	A603															
								健	2	ドイツ語会話Ⅰ	毛利	D404															
								健	2	中国語会話Ⅰ	柴田	D206															
								健	2	朝鮮語会話Ⅰ	鄭	B307															
								健	2	フランス語会話Ⅰ	竹垣	A606															
								健	2	イタリア語会話Ⅰ	吉冨	A603															
								全	2	ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ-3	重福 野之上 山本辰	TA TS TM															
								全	3	ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ-5	重福 野之上 山本辰	TA TS TM															
								全	4	ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ-7	重福 野之上 山本辰	TA TS TM															
神戸女子短期大学	Ⅲ	総合生活学科	生	1	調理学実習Ⅰ	中尾	A914	生	1	ﾒｲｸｱｯﾌﾟ演習	遠藤	B403	生	1	英語Ⅰ(b)	谷山	A605	生	1	食品学	細見	A607	生	1	情報基礎演習	浅木森	B303
			生	1	情報科学Ⅰ	浅木森	B304	生	1	医療事務概論	生駒	A302	生	1	英語Ⅰ(b)	久保	A606	生	1	CG演習Ⅱ	林孝	B303	生	1	洋裁基礎演習	古田	A304
			生	1	実践日本語表現Ⅱ（話しことば）	武藤	B305	生	2	総合生活演習	全	A303 A304 A305 A307 A405 A504 A911 A914 A915 B303 B306	生	1	英語Ⅰ(b)	森	B305	生	1	染色実習	坂井	A308	生	1	建築CAD演習	青山	B304
			生	2	ﾌｰﾄﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ心理学	細見	A608						生	2	ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ演習	向山	A608	生	2	住宅ﾃﾞｻﾞｲﾝ実習Ⅱ	本保	B306		2	経営会計実務処理	小沢	A302
													生	2	食品加工学実習	細見	A915	生	2	ﾌｰﾄﾞｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ実習	中尾	A911 A914		2	人間関係心理学演習	長瀬	A608
		食物栄養学科	栄	1A				栄	1A	栄養ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ論	小上	A605	栄	1	食物ｱﾚﾙｷﾞｰ論	西川	A603	栄	1A	生化学	平野	A603	栄	1A	応用栄養学	本田	A604
			栄	1B	栄養教育・指導論	本田	A808	栄	1B	基礎食品学	下山	A505	栄					栄	1B	栄養ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ論	小上	A302	栄	1B			
			栄	1C				栄	1C	給食運営管理実習Ⅰ	竹内よ	A806 A804 A807	栄					栄	1C	調理学実習Ⅱ	下山	A809	栄	1C	基礎食品学	下山	A603
			栄	1D	基礎食品学	下山	A606	栄	1D	栄養教育・指導論	本田	A808	栄					栄	1D	生化学実験	赤桐	A712	栄	1D			
			栄	2A	食品学実験Ⅱ	赤桐	A712	栄	2	食環境論演習	赤桐	B305	栄	2	応用微生物学	逵	A607	栄	2A	臨床栄養学	今本	A804	栄				
			栄	2	教職実践演習（栄養教諭）	吉泉 西川 平野	A604	栄					栄					栄	2B				栄	2B	公衆衛生学	宇賀	A606
			栄					栄					栄					栄	2C				栄	2C	臨床栄養学	今本	A404
			栄					栄					栄					栄	2D	ｸﾘｴｰﾃｨﾌﾞｸｯｷﾝｸﾞ	竹内み	A908	栄	2D			
		幼児教育学科	幼	1AB	教育課程論演習	庄司 三木	A507	幼	1AB	教育実習指導	三木 庄司 塚田	A404 B407	幼	1AB	子どもの食と栄養Ⅱ	田中	A604 A914	幼	1	社会的養護	畠山	A608		1AB	保育内容の指導法A	三木	B407 TM TS
			幼	1CD	教育課程論演習	庄司 三木	A505	幼	1D	教育情報処理演習	水島	B304	幼	1CD	子どもの保健演習	谷口	A402	幼					幼	1CD	保育内容の指導法（環境）	庄司	A407 A507
			幼	2	算数	水島	A404	幼	2AB	保育実習指導Ⅰ（事後）	畠山 川村 永井	A607	幼	2AB				幼	2	保育・教職実践演習（幼稚園）	羽多庄 司三木 塚田吉 泉川村	B407 A405 A407 A303 A504 A505	幼	2AB	障害児保育Ⅱ	永井	A607
			幼					幼	2CD	保育実習指導Ⅰ（事後）	畠山 川村 永井	A608		2CD	子どもの遊びと文化	長谷川	A407										
		教養	全	1・2	食品科学	田中 逵	B407	全	1・2	舞台芸術Ⅱ	別所	A507	全	1・2	日本文学	武藤	B407	全	1・2	英会話	ジェントリ	A604	全	1	芸術表現学	川村	A405

授業時間割（後期）

ポートアイランドキャンパス全体版

調整日（臨地実習により授業回数が不足する授業科目の実施日）

区分	時限	月					火					水					木					金				
		学科		学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室
看護学部	Ⅳ	看護学科	看	1	人体のしくみと機能Ⅱ	加堂	F301	看	1A	教養英語Ⅰ-2	山下	F310	看	1	教育行政学（養教免）	和田	D304	看					看	1	医療と法	七野	F310
			看					看					看					看					看				
			看	2	母性看護論	田村	F209 F210	看					看	2	生徒指導論（栄教・養教）	榎元	C309	看	2	ﾌｨｼﾞｶﾙﾌｨｯﾄﾈｽ	野之上	TA	看				
			看	3	予防看護論	馬場	F417 F310	看					看	3	保健統計学	宇賀	F310	看					看	3	公衆衛生看護活動論Ⅱ	魚里	F202 F210
健康福祉学部	Ⅳ	社会福祉学科	社	1AB				社	1AB	ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ-1	重福 山本辰	TA TS TM	社	1AB	*ボランティア活動論	木村	D403	社	1AB				社	1AB			
			社	1C	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ技術	津田	C308	社	1C	ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ-1	重福 山本辰	TA TS TM	社	1C	*ボランティア活動論	木村	D403	社	1C				社	1C			
			社	2AB	精神疾患とその治療Ⅱ	酒井	D403	社	2AB	相談援助の理論と方法Ⅱ	植戸	D501	社	2AB				社	2AB				社	2AB	社会福祉特講Ⅱ（社会問題）	下司 曽田 松﨑 横山	D403
			社	2C				社	2C	相談援助の理論と方法Ⅱ	植戸	D501	社	2C	生活支援技術Ⅲ（応用）	泉	C106 C107 C308	社	2C				社	2C	社会福祉特講Ⅱ（社会問題）	下司 曽田 松﨑 横山	D403
			社	3AB	相談援助演習Ⅲ	植戸 冨永 曽田 下司	C309 D204 D206 D406 D407 D408 D409	社	3AB				社	3AB				社	3AB				社	3AB			
			社	3C	相談援助演習Ⅲ			社	3C	在宅支援方法論	木村	C309 C105 C106 C107	社	3C				社	3C				社	3C	生活支援技術Ⅳ（個別介護技術）	津田	C106 C107 C308
			社	4AB				社	4AB	精神科ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学	奥山	D204 D205	社	4AB				社	4AB				社	4AB			
			社	4C	家政学Ⅰ（栄養・調理）	松浦	C207 C208	社	4C				社	4C				社	4C				社	4C			
		健康スポーツ栄養学科	ス	1A	スポーツ栄養学Ⅱ	坂元	D404	ス	1A	*食を中心とした化学Ⅱ	吉川	B403	ス	1A	教育行政学（栄教免）	和田	D304	ス	1A				ス	1A	食品衛生学実験	柳田	A711
			ス	1B	スポーツ栄養学Ⅱ	坂元	D404	ス	1B	*食を中心とした化学Ⅱ	吉川	B403	ス	1B	教育行政学（栄教免）	和田	D304	ス	1B				ス	1B			
			ス	2A	身体運動実習Ⅱ（ジョギング・ウォーキング）	西山 重福	TA	ス	2A	運動プログラム論	奥野	D403	ス	2A	給食運営管理実習	佐藤	A804 A806 A807	ス	2A				ス	2A	生化学実験	吉川	A712
			ス	2B	身体運動実習Ⅱ（ジョギング・ウォーキング）	西山 重福	TA	ス	2B	運動プログラム論	奥野	D403	ス	2B	生化学実験	吉川	A712	ス	2B				ス	2B	給食運営管理実習	佐藤	A804 A806 A807
			ス	3A				ス	3A				ス	3A	生徒指導論（栄教）	榎元	C309	ス	3A				ス	3A			
			ス	3B				ス	3B	公衆衛生学	鈴木	D304	ス	3B	生徒指導論（栄教）	榎元	C309	ス	3B	公衆栄養学実習	田中	D305	ス	3B			
			ス	4A				ス	4A	災害時の食事・栄養管理実習	松浦	A809	ス	4A	応用調理学実習Ⅱ	糸井	C207 C208	ス	4A				ス	4A			
			ス	4B				ス	4B	災害時の食事・栄養管理実習	松浦	A809	ス	4B				ス	4B				ス	4B			
学部共通	Ⅳ	教養	社	1	情報Ⅱ	平田	D305	健	1～4	★健康づくり・生活支援ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ（15：20～16：50）	藤井 工藤	兵庫医療	全	1	現代社会Ⅳ	和田賢	D404						全	1	歴史Ⅱ	毛利	D404
			健	3	外国語コミュニケーションⅡ	山下	B305	看・社	1	ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ-1	野之上・山本・重福	TA	全	1	歴史Ⅲ【隔年開講】	松田	D206										
													全	1	言葉と文学Ⅲ【隔年開講】	木下	A607										
神戸女子短期大学	Ⅳ	総合生活学科	生	1	調理学実習Ⅰ	中尾	A914	生	1	犯罪心理学	未	A607	生	1	教育の方法・技術（中）	浅木森	B304	生	1	服飾ﾃﾞｻﾞｲﾝ心理学	古田	A606	生	1	CG演習Ⅱ	林孝	B303
			生	1	観光ﾋﾞｼﾞﾈｽ論	中川	A307	生	1	工芸演習	谷口	A308	生	2	教職実践演習（中）	長瀬 吉泉 古田	A404	生	1	染色実習	坂井	A308	生	1	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論	小沢	A302
			生	1	ﾊﾟﾀｰﾝﾒｰｷﾝｸﾞ論	十一	A304						生	2	恋愛心理学	土肥	A608	生	2	住宅ﾃﾞｻﾞｲﾝ実習Ⅱ	本保	B306	生	2	染色学	古田	A604 A308
			生	2	食品衛生学	逵	A603						生	2	食品加工学実習	細見	A915	生	2	ﾌｰﾄﾞｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ実習	中尾	A911 A914	生	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	谷山	A605
		食物栄養学科	栄	1	教育の方法・技術（栄教）	吉泉	A606	栄	1A				栄	1	教職原論（栄教）	森本	A603	栄	1A				栄	1	食品加工学	田中	A608
			栄					栄	1B				栄					栄	1B	生理学	平野	A603	栄				
			栄					栄	1C	給食運営管理実習Ⅰ	竹内よ	A806 A804 A807	栄					栄	1C	調理学実習Ⅱ	下山	A809	栄				
			栄					栄	1D	栄養ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ論	小上	A605	栄					栄	1D	生化学実験	赤桐	A712	栄				
			栄	2A	食品学実験Ⅱ	赤桐	A712	栄	2	スポーツ栄養学	坂元	A404	栄	2	食物栄養学ｾﾐﾅｰ	田中	A707	栄	2A	臨床医学概論	野澤	A604	栄				
			栄	2B	応用食品学	田中	A605	栄					栄	2	食物栄養学ｾﾐﾅｰ	逵	A711	栄	2B				栄	2B	臨床栄養学	今本	A404
			栄	2C				栄					栄	2	食物栄養学ｾﾐﾅｰ	平野	A302	栄	2C	英語Ⅰ(b)	上野	B305	栄	2C	公衆衛生学	宇賀	A606
			栄	2D				栄					栄					栄	2D	ｸﾘｴｰﾃｨﾌﾞｸｯｷﾝｸﾞ	竹内み	A908	栄	2D			
		幼児教育学科	幼	1	家庭支援論	畠山	A608	幼	1AB				幼	1AB	英語Ⅰ(b)	森	B305	幼	1	食育論	西川	B403	幼	1	教育の方法・技術	川村	B407 B304
			幼					幼	1CD	乳児保育Ⅱ	山中	D203 A402	幼	1CD	子どもの食と栄養Ⅱ	田中	A604 A914	幼					幼				
			幼					幼	2AB				幼	2	食生活指導研究	本田 水島 羽多	A808 A507 B303	幼	2	学科特別演習Ⅱ	全	A302 A307 A402 A405 A406 A407 A502 A503 A504 A505 A507 B303 D206 TA TS TM	幼	2AB			
			幼					幼	2CD				幼					幼					幼	2CD			
		教養	全	1・2	造形美術Ⅱ	林孝	B303	全	1・2	ﾌﾗﾝｽ語Ⅱ	吉川	A606	全	1	ｷｬﾘｱへのｱﾌﾟﾛｰﾁⅡ	中川 上野 福井	B403 A303 A405 A502 A503 D406 D407 D408 D409	全					全				
			全	1・2	体育講義	杉山	A604	全	1・2	ｲﾀﾘｱ語Ⅱ	吉冨	A603	全	1・2	英語Ⅱ(b)	谷山	A605						全				
			全	1・2	英語Ⅱ(b)	上野	D206	全	1・2	中国語Ⅱ	柴田	D206															
								全	1・2	★健康づくり・生活支援ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ（15：20～16：50）	藤井 工藤	兵庫医療															

授業時間割（後期）

ポートアイランドキャンパス全体版

調整日（臨地実習により授業回数が不足する授業科目の実施日）

区分	時限	月					火					水					木					金				
		学科	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室	学科	学年クラス	科目名	担当	教室
看護学部	V	看護学科	看	1	生命倫理	狩野	F301	看					看	1	特別活動論（養教免）	佐藤浩	C309	看	1	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論（表現学）	笹原	F310	看				
			看					看					看	3	保健統計学	宇賀	F310	看					看	2	疾病と治療Ⅵ	西尾	F310
健康福祉学部	V	社会福祉学科	社	1AB				社	1AB				社	1AB				社	1AB				社	1AB			
			社	1C	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ技術	津田	C308	社	1C				社	1C				社	1C				社	1C			
			社	2AB				社	2AB	英語Ⅱ-2	深井	A303	社	2AB				社	2AB				社	2AB			
			社	2C				社	2C	英語Ⅱ-2	深井	A303	社	2C	生活支援技術Ⅲ（応用）	泉	C106 C107 C308	社	2C				社	2C			
			社	3AB				社	3AB	精神保健の課題と支援Ⅱ	殿村	D403	社	3AB				社	3AB				社	3AB	医療福祉論	諏訪田	C309
			社	3C				社	3C	介護総合演習Ⅲ	横山 木村	D406 D407	社	3C				社	3C				社	3C	医療福祉論	諏訪田	C309
			社	4AB				社	4AB				社	4AB				社	4AB				社	4AB			
			社	4C				社	4C				社	4C				社	4C				社	4C			
		健康スポーツ栄養学科	ス	1A				ス	1A	*国際栄養論	梶原 松本	D501	ス	1A				ス	1A				ス	1A			
			ス	1B				ス	1B	*国際栄養論	梶原 松本	D501	ス	1B				ス	1B				ス	1B			
			ス	2A	健康福祉論（ライフサイクルとＱＯＬを含む）	重福	A607	ス	2A				ス	2A				ス	2A				ス	2A			
			ス	2B	健康福祉論（ライフサイクルとＱＯＬを含む）	重福	A607	ス	2B				ス	2B	応急手当実習	鈴木	D104	ス	2B				ス	2B	スポーツ栄養情報処理演習	坂元	D305
			ス	3A				ス	3A				ス	3A	特別活動論	佐藤浩	C309	ス	3A				ス	3A	ﾌｰﾄﾞｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ論	梶原 佐藤 吉川	D403
			ス	3B				ス	3B				ス	3B	特別活動論	佐藤浩	C309	ス	3B				ス	3B	ﾌｰﾄﾞｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ論	松浦 松本	D403
			ス	4A				ス	4A	卒業論文	吉川	研究室	ス	4A	教職実践演習（栄養教諭）	岸本 奥野 山本 重福 佐藤	D304 D404 D406 D407 D408 D409	ス	4A				ス	4A			
			ス	4B				ス	4B	卒業論文	吉川	研究室	ス	4B	教職実践演習（栄養教諭）	岸本 奥野 山本 重福 佐藤	D304 D404 D406 D407 D408 D409	ス	4B				ス	4B			
学部共通	V	教養	全	1	数学Ⅰ	澤田	D304	全	1	自然と環境Ⅰ	本間（森下）	D304	全	1	基礎Ⅱ	山下	D501	健	1～4	★防災・防犯ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ（16：45～18：15）	未	神戸学院	全	1	現代社会Ⅰ	七野	D404
			健	2	基礎Ⅲ	木村	D403	全	1	朝鮮語Ⅰ-2	鄭	B307											全	1	衣・食・住Ⅱ	松本	D501
								全	1	ﾄﾞｲﾂ語Ⅰ-2	毛利	C309															
								全	1	ｲﾀﾘｱ語Ⅰ-2	吉冨	A603															
								全	1	ﾌﾗﾝｽ語Ⅰ-2	竹垣	A606															
								全	1	中国語Ⅰ-2	柴田	D206															
								全	1	言葉と文学Ⅱ【隔年開講】	山口	A302															
								看	1	教養英語Ⅱ-2	山下	D404															
								健	2	教養英語Ⅱ-2	山下	D404															
								健	3	外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	バンデン	C308															
								健	1～4	★防災・防犯指導論実習（16：45～18：15）	未	神戸学院															
神戸女子短期大学	V	総合生活学科	生	1	教育心理学（中）	長瀬	A404																				
			生																								
		食物栄養学科	栄	1	教育心理学（栄教）	長瀬	A404	栄	1				栄	1	栄養教育実習指導（栄教）	西川 平野	A808	栄	1				栄	1	生徒指導論（栄教）	宮澤	A603
			栄					栄					栄					栄					栄				
			栄	2	栄養士実務技術演習	西川 今本 本田 竹内み	A603	栄	2				栄	2				栄	2A				栄	2			
			栄					栄					栄					栄	2B				栄				
			栄					栄					栄					栄	2C	臨床医学概論	野澤	A604	栄				
			栄					栄					栄					栄	2D				栄				
		幼児教育学科	幼					幼	1AB	乳児保育Ⅱ	山中	D203 A402	幼	1A	教育情報処理演習	水島	B303	幼	1C	体育	別所	A505 TA TM TS	幼	1A			
			幼					幼	1CD				幼	1D				幼	1D				幼	1B			
			幼	2AB				幼	2AB				幼	2AB				幼	2AB				幼	2AB			
			幼	2CD				幼	2CD				幼	2CD				幼	2CD				幼	2CD			
		教養	全	1・2	子どもと社会	畠山 塚田	A604	全	1・2	日本国憲法	七野	A605	全	1・2	神戸学	武藤 中川 谷山 細見	B403	全	1	衣生活の知識	古田 本保	A304 A607	全	1・2	心理学	長瀬	B403
								全	1・2	★防災・防犯指導論実習（16：45～18：15）	未	神戸学院	全	1	ﾗｲﾌﾃﾞｻﾞｲﾝｾﾐﾅｰ	未	B407	全	1・2	教育学	平野 庄司 永井	B403					
													全					全	1・2	日本の生活文化	西川 細見	A605					
																		全	1・2	★防災・防犯ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ（16：45～18：15）	未	神戸学院					

集中講義等					
学科	学年	科目名	担当	教室	日程
全	1	地域学習	福山・冨永・奥野	別途	別途指示
全	1～4	★人間関係づくりﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ	浜中	神戸学院	9/9（火）～9/11（木）集中
全	1・2	スポーツ実技Ⅱ－A・B	中山	別途	集中
全	3・4	スポーツ実技Ⅱ－C・D	中山	別途	集中
全	3・4	★地域連携ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟⅡ	未	神戸学院	初回のみ授業・第2回目以降は各自プログラムに参加
看	1	ｺﾐｭﾆﾃｨ看護実習Ⅰ	東・馬場・福山・焦里・小路・藤田・川喜田・深山・小林・溝畑	F304 F301 F302	別途指示
看	1	成育看護実習Ⅰ	内・菅野・丸山・下敷領・田村・牛越・岡本・西方	F304 F301 F302	別途指示
看	1～4	学びのグループゼミ	全	別途	別途指示

集中講義等					
学科	学年	科目名	担当	教室	日程
看	2	ｺﾐｭﾆﾃｨ看護実習Ⅱ（老年）	藤田・川喜田・深山	F304 F301・F302	別途指示
看	2	医療看護実習Ⅱ（精神）	玉木・大谷	F304 F301・F302	別途指示
看	2	特別支援学校体験活動	丸山	別途	別途指示
看	3	医療看護実習Ⅱ（急性期）	横内・藤原・藤田	F310 F305～309	別途指示
看	3	医療看護実習Ⅱ（慢性期）	横内・藤原・元木・奥井・鷲田	F310 F305～309	別途指示
看	3	成育看護実習Ⅱ（小児）	内・菅野・丸山・西方	F310 F305～309	別途指示
看	3	成育看護実習Ⅱ（母性）	下敷領・田村・牛越・岡本	F310 F305～309	別途指示
看	4	養護実習A,B	丸山・岸本・榎元	別途	別途指示
看	4	課題探究	全員（宇賀・助教除く）	F310 F305～309	別途指示

TA:体育ホールアリーナ
TM:体育ホールマシンジム
TS:体育ホールスタジオ

学術雑誌及びデータベース一覧　　資料5

学術雑誌リスト

内国雑誌	
1	Clinical Study
2	NEONATAL CARE
3	エキスパートナース
4	家族看護
5	がん看護
6	看護技術
7	看護教育
8	看護研究
9	看護実践の科学
10	看護展望
11	緩和ケア
12	月刊地域保健
13	呼吸器ケア
14	コミュニティケア
15	周産期医学
16	消化器外科ナーシング
17	小児内科
18	小児外科
19	小児看護
20	助産雑誌
21	精神看護
22	ハートナーシング
23	ペリネイタルケア
24	訪問看護と介護
25	保健師ジャーナル
26	老年看護学
27	健康教室
28	健
29	公衆衛生
30	看護
31	ナーシング・トゥデイ
32	プチナース
33	オペナーシング
34	Emergency Care（エマージェンシー・ケア）
35	精神科看護
36	精神科治療学
37	こころの元気プラス
38	糖尿病ケア
39	月刊ナーシング
40	日本がん看護学会誌
41	日本クリティカルケア看護学会誌
42	母性衛生
43	日本慢性看護学会誌
44	日本糖尿病教育・看護学会誌
45	日本難病看護学会誌
46	日本循環器看護学会誌
47	日本ストレス学会誌 「ストレス科学」
48	日本看護倫理学会誌
49	日本看護科学会誌
50	日本看護研究学会誌
51	日本看護技術学会誌
52	日本助産学会誌
外国雑誌	
1	Advances in Nursing Science
2	American Journal of Nursing
3	British Journal of Nursing
4	Journal of Gerontological Nursing
5	Journal of Pediatric Nursing
6	Nursing Research
7	Archives of Psychiatric Nursing
8	Midwifery
内国電子ジャーナル	
1	看護管理
外国電子ジャーナル	
1	International Nursing Review
2	Journal of Nursing Scholarship
3	World Views on Evidence-based Nursing
4	Issues in Mental Health Nursing
5	Journal of Midwifery and Women's Health
雑誌66種（内国雑誌52＋外国雑誌8＋内国電子ジャーナル1＋外国電子ジャーナル5）	

データベースリスト

内国データベース	
1	ナーシング・スキル
2	ナーシング・パスポート
3	CiNii
外国データベース	
1	The Cochrane Library
2	CINAHL with Full Text
3	PubMed
データベース6種（内国データベース3＋外国データベース3）	

資料6

看護学部入学者選抜方法の概要

【推薦入試】
推薦入試の選抜方法、選択科目等については次の通りである。

<table>
<tr><th>種別</th><th>科目数</th><th>試験科目</th><th>基礎学力試験の判定方法・配点</th><th>配点率</th><th>募集
定員</th></tr>
<tr><td rowspan="2">前期A</td><td rowspan="2">2科目</td><td rowspan="4">英語（必須）

国語・化学・生物
から1科目選択</td><td>2科目×100点の200点満点</td><td rowspan="7">調査書
20%

基礎学力試験
80%</td><td rowspan="8">36名</td></tr>
<tr><td>高得点1科目×200点＋
1科目×100点の300点満点</td></tr>
<tr><td rowspan="2">前期B</td><td rowspan="2">2科目</td><td>2科目×100点の200点満点</td></tr>
<tr><td>高得点1科目×200点＋
1科目×100点の300点満点</td></tr>
<tr><td>前期C</td><td>3科目</td><td>推薦前期Aの2科目と
推薦前期Bの高得点
1科目</td><td>推薦前期Aの2科目×100点＋
推薦前期Bの高得点1科目×100点の
300点満点</td></tr>
<tr><td rowspan="2">後期</td><td rowspan="2">2科目</td><td>英語（必須）

国語・化学・生物
から1科目選択</td><td>2科目×100点の200点満点</td></tr>
<tr><td>高得点1科目×200点＋
1科目×100点の300点満点</td></tr>
<tr><td>自己
推薦
方式</td><td>1科目</td><td rowspan="2">英語・化学・生物から
1科目選択</td><td rowspan="2">1科目×100点の100点満点</td><td>基礎学力試験
50%
自己推薦書
面接
50%</td></tr>
<tr><td>神女
ファミリー
方式</td><td>1科目</td><td>調査書20%
基礎学力試験
60%
自己推薦書
面接
20%</td><td rowspan="2">若干名</td></tr>
<tr><td>指定校
推薦</td><td colspan="5">面接と調査書により選考</td></tr>
</table>

【一般入試】

一般入試の選抜方法、選択科目等については次の通りである。

<table>
<tr><th>種別</th><th>科目数</th><th>試験科目</th><th>判定方法・配点</th><th>募集定員</th></tr>
<tr><td rowspan="2">前期A</td><td>2科目</td><td>英語・国語・化学・生物・数学から2科目選択。ただし、英語・国語・数学から1科目以上選択</td><td>2科目×100点の200点満点</td><td rowspan="5">32名</td></tr>
<tr><td>3科目</td><td>英語（必須）

国語・化学・生物・数学から2科目選択。ただし、国語・数学から1科目以上選択</td><td>3科目×100点の300点満点</td></tr>
<tr><td>前期B1</td><td>2科目</td><td rowspan="2">英語・国語・化学・生物・数学から2科目選択。ただし、英語・国語・数学から1科目以上選択</td><td>2科目×100点の200点満点</td></tr>
<tr><td>前期B2</td><td>2科目</td><td>高得点1科目×200点+
1科目×100点の300点満点</td></tr>
<tr><td>前期C
（大学入試センタープラス方式）</td><td>3科目</td><td>一般前期B1またはB2の2科目と大学入試センター試験（外国語・国語・数学・理科）のうち高得点1科目</td><td>2科目×100点＋
センター高得点1科目×100点の300点満点</td></tr>
<tr><td rowspan="3">後期</td><td>2科目</td><td>英語・国語・化学・生物・数学から2科目選択。ただし、英語・国語・数学から1科目以上選択</td><td>2科目×100点の200点満点</td><td rowspan="3">6名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3科目</td><td rowspan="2">英語（必須）

国語・化学・生物・数学から2科目選択。ただし、国語・数学から1科目以上選択</td><td>3科目×100点の300点満点</td></tr>
<tr><td>高得点2科目×100点の200点満点</td></tr>
</table>

※前期Cの大学入試センター試験の外国語については、200点満点を100点に換算する。英語については、筆記（200点）、リスニング（50点）を100点に換算する。国語については、近代以降の文章（100点）のみとする。

【大学入試センター試験利用入試】

大学入試センター試験利用入試の選抜方法、選択科目等については次の通りである。

種別	科目数	試験科目	判定方法・配点	募集定員
前期	3科目	外国語・国語・数学・理科	4教科の中から得点の高い3教科・3科目を合否判定に使用 3科目×100点の300点満点	3名
後期	2科目	外国語・国語・数学・理科	4教科の中から得点の高い2教科・2科目を合否判定に使用 2科目×100点の200点満点	3名

※大学入試センター試験の外国語については、200点満点を100点に換算する。英語については、筆記（200点）、リスニング（50点）を100点に換算する。国語については、近代以降の文章（100点）のみとする。

【社会人特別入試】

小論文と面接により選考する。

保健師・助産師国家試験受験資格選択希望者の選抜方法

《保健師国家試験受験資格》

定　　員	20 名
選択希望申請の時期	3 年次前期　8 月
選　抜　の　時　期	3 年次前期　9 月
選　抜　の　方　法	（書類選考） ・　希望申請書類及び選考基準に基づき、書類選考を行う。 （面接試験） ・　面接試験は個人面接とする。
選　考　基　準	①　資格志望の意思が明確であること。 ②　「公衆衛生看護学概論」および「地域看護活動論」の評価が原則として「良」以上であること。 ③　3 年次前期までの GPA が原則として 2.5 以上であること。 ④　3 年次前期までの専門科目のうち、必修科目の未修得科目が原則として 3 科目以内であること。 ⑤　3 年次前期までに履修すべき授業科目への出席状況や授業への取組姿勢が良好であること。 ⑥　3 年次前期までの保健師国家試験受験資格の所要科目を修得していること。 ⑦　所定の卒業年次で卒業見込みであること。
選　抜　体　制	①　看護学部看護学科に選考委員会（教務委員 1 名、保健師科目担当教員 3 名の計 4 名を構成員とする。）を設置し、選考基準に基づき選抜する。 ②　選考委員会の選考結果に基づき、看護学部看護学科において履修者を決定する。

《助産師国家試験受験資格》

定　　員	8 名
選択希望申請の時期	3 年次前期　8 月
選　抜　の　時　期	3 年次前期　9 月
選　抜　の　方　法	（書類選考） ・　希望申請書類及び 3 年次前期までの成績に基づき、書類選考を行う。 （面接試験、筆記試験または実技試験） ・　面接試験は個人面接とする。 ・　筆記試験は母性看護学・周産期医学等関連科目に関する試験、実技試験は助産に関連する技術とする。
選　考　基　準	①　資格志望の意思が明確であること。 ②　3 年次前期までの GPA が原則として 2.5 以上であること。 ③　3 年次前期までの専門科目のうち、必修科目の未修得科目が原則として 3 科目以内であること。 ④　3 年次前期までに履修すべき授業科目への出席状況や授業への取組姿勢が良好であること。 ⑤　3 年次前期までの助産師国家試験受験資格取得のための所要科目の成績が良好であること。
選　抜　体　制	①　看護学部看護学科に選考委員会（教務委員 1 名、助産師科目担当教員 3 名の計 4 名を構成員とする。）を設置し、選考基準に基づき選抜する。 ②　選考委員会の選考結果に基づき、看護学部看護学科において履修者を決定する。

資料 8

養護実習の実習校及び履修条件

養　護　実　習　校　一　覧			
教育委員会名	兵庫県教育委員会	高等学校：160 校	
	神戸市教育委員会	小学校：　167 校	中学校：　84 校
	明石市教育委員会	小学校：　28 校	中学校：　13 校
	姫路市教育委員会	小学校：　69 校	中学校：　35 校
	加古川市教育委員会	小学校：　28 校	中学校：　12 校
	高砂市教育委員会	小学校：　10 校	中学校：　6 校
	芦屋市教育委員会	小学校：　8 校	中学校：　3 校
	西宮市教育委員会	小学校：　40 校	中学校：　20 校
	尼崎市教育委員会	小学校：　43 校	中学校：　22 校
	宝塚市教育委員会	小学校：　24 校	中学校：　12 校
	伊丹市教育委員会	小学校：　17 校	中学校：　8 校
	豊岡市教育委員会	小学校：　29 校	中学校：　10 校
	稲美町教育委員会	小学校：　5 校	中学校：　2 校
	播磨町教育委員会	小学校：　4 校	中学校：　2 校
	大阪市教育委員会	小学校：　303 校	中学校：131 校
	豊中市教育委員会	小学校：　41 校	中学校：　19 校

養　護　実　習　の　履　修　条　件

成績良好で、かつ実習に耐え得る心身の健康を保持していること。また、3 年次終了までに下記の条件を満たしていることを原則とする。

(1)　卒業要件単位の 90 単位以上修得済みであること。

①　専門科目について、1～3 年次の必修科目を修得済みであること。

②　全学共通教養科目の「日本国憲法」、「スポーツと健康の科学」、「基礎トレーニング」、「外国語コミュニケーションⅠ」、「外国語コミュニケーションⅡ」及び「情報Ⅰ」の各単位を修得済みであること。

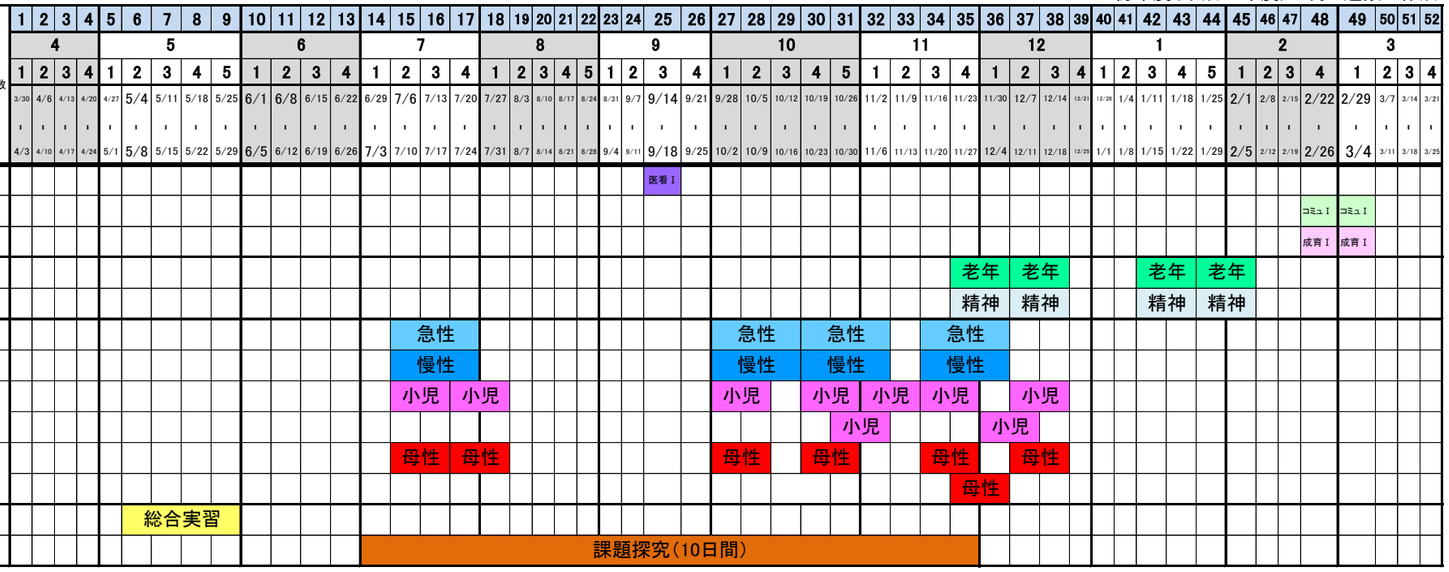
(2)　「学校保健Ⅰ」、「学校保健Ⅱ」及び「養護概説」を修得済みであること。

(3)　3 年次までに開講された「教職に関する科目」を修得済みであること。

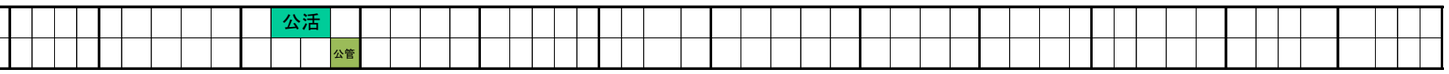
臨地実習計画表

※初年度（平成27年度）の月と週数で作成

実習段階	配当年次	授業科目名	配当期	単位数	週数	1クール当たりの学生数	1クール当たりのグループ数	1グループの人数	クール数
第Ⅰ段階	1年次	医療看護実習Ⅰ	前期	1単位	1週間	80名	16G	5名	1
		コミュニティ看護実習Ⅰ	後期	1単位	1週間	40名	8G	5名	2
		成育看護実習Ⅰ	後期	1単位	1週間	40名	8G	5名	2
第Ⅱ段階	2年次	コミュニティ看護実習Ⅱ（老年）	後期	2単位	2週間	20名	4G	5名	4
		医療看護実習Ⅱ（精神）	後期	2単位	2週間	20名	4G	5名	4
	3年次	医療看護実習Ⅱ（急性期）	前期・後期	3単位	3週間	20名	4G	5名	4
		医療看護実習Ⅱ（慢性期）	前期・後期	3単位	3週間	20名	4G	5名	4
		成育看護実習Ⅱ（小児）	前期・後期	2単位	2週間	5～20名	1～4G	5名	9
		成育看護実習Ⅱ（母性）	前期・後期	2単位	2週間	5～20名	1～4G	5名	7
第Ⅲ段階	4年次（助産師除く）	総合実習（地域・在宅）	前期	4単位	4週間	72名	-	-	-
		課題探究（※実習）	通年	2単位	2週間	72名	-	-	-
計				23単位	23週間				



保健師	4年次	公衆衛生看護活動論実習	前期	2単位	2週間	20名	（注1）		1
		公衆衛生看護管理論実習	前期	1単位	1週間	20名			1
助産師	4年次	助産学実習	前期	8単位	8週間(注2)	8名	-	2～4名	-
		総合実習（地域・在宅）	前期	4単位	4週間	8名	-	2～4名	-
		課題探究（※実習）	通年	2単位	2週間	8名	-	2～4名	-



（注1）前年度に兵庫県看護系大学協議会にて調整
（注2）期間は8週間以上、法定の症例数を満たすまで
（注3）期間はこのうち4週間分

略称
G・・・グループ
医看Ⅰ・・・医療看護実習Ⅰ
コミュⅠ・・・コミュニティ看護実習Ⅰ
成育Ⅰ・・・成育看護実習Ⅰ
老年・・・コミュニティ看護実習Ⅱ（老年）
精神・・・医療看護実習Ⅱ（精神）
急性・・・医療看護実習Ⅱ（急性期）
慢性・・・医療看護実習Ⅱ（慢性期）
小児・・・成育看護実習Ⅱ（小児）
母性・・・成育看護実習Ⅱ（母性）
総合実習・・・総合実習（地域・在宅）
公活・・・公衆衛生看護活動論実習
公管・・・公衆衛生看護管理論実習

臨地実習　科目別実習概要

	授業科目名	配当年次・配当期	頁
1	コミュニティ看護実習Ⅰ	1 年次　後期	2
2	医療看護実習Ⅰ	1 年次　前期	3
3	成育看護実習Ⅰ	1 年次　後期	4
4	コミュニティ看護実習Ⅱ（老年）	2 年次　後期	5
5	医療看護実習Ⅱ（精神）	2 年次　後期	6
6	医療看護実習Ⅱ（急性期）	3 年次　前期・後期	8
7	医療看護実習Ⅱ（慢性期）	3 年次　前期・後期	10
8	成育看護実習Ⅱ（小児）	3 年次　前期・後期	12
9	成育看護実習Ⅱ（母性）	3 年次　前期・後期	14
10	総合実習（地域・在宅）	4 年次　前期	15
11	課題探究（※実習）	4 年次　通年	17
12	公衆衛生看護活動論実習	4 年次　前期	20
13	公衆衛生看護管理論実習	4 年次　前期	22
14	助産学実習	4 年次　前期	24

1. 授業科目名	コミュニティ看護実習Ⅰ
2. 配当年次・配当期	1 年次・後期
3. 単位数・時間数	1 単位・40 時間
4. 実習目的	何らかの健康障害あるいは生活障害を持ち、自宅での生活が困難となった高齢者が生活する介護老人保健施設や通所リハビリテーション施設において、高齢者の活動の特性と活動の場を知ることによって、施設での高齢者の生活や施設に通う高齢者の状況について理解を深める。高齢者へのケアに参加することを通して、生活施設における回復リハビリテーション支援や疾病・障害予防のためのケアを理解する。また、施設の役割と機能、施設内の他職種間の連携、医療機関との連携体制、介護予防活動などについて学ぶ。
5. 到達目標	① 高齢者の活動の特性と活動の場を知る。 ② 施設での高齢者の生活や施設に通う高齢者の状況について理解を深めることができる。 ③ 施設で提供されているリハビリテーション支援や障害予防支援のための看護ケアを理解する。
6. 実習内容	① 病院・施設では、オリエンテーションを全体で受けた後、グループに分かれて、病院・施設を見学し、どのような目的でどのような施設管理や構造がなされているのかを理解する。 ② ベッドサイドケア見学や参加、ケアスタッフの業務に同行することで、看護ケアの実際を知る。 ③ リハビリテーション、レクリエーションに参加、見学を行いながら、利用者の方とコミュニケーションをとり、利用者と同じプログラムを体験する。 ④ 疾病・障害予防のための工夫や取り組みを学び、高齢者が生活することに関する知識・技術がどのように使われているのか、カンファレンスを通して学生間で学びを共有する。
7. 評価方法	実習のねらいに関する到達度（80%）、レポート・記録物の提出（20%）
8. 期間	1 週間
9. 実習スケジュール	80 名が 40 名ずつ 2 クールに分かれて 4 施設で実施する。成育看護実習Ⅰとセットで行う。
10. 学生数	5 名 1 グループで 16 グループ編成（計 80 名）とする
11. 担当教員数	教授 3 名、准教授 1 名、講師 3 名、助教 3 名、助手 2 名で計 12 名
12. 実習施設・教員配置	甲南介護老人保健施設：福山講師 神戸老人保健施設神戸ポートピアステイ：川喜田准教授(平成 27 年度は藤田教授)、助手 a 西宮敬愛会病院：深山助教(平成 27 年度は馬場講師) ウエルハウス西宮：小林助教、溝畑助教 ※助手 a は川喜田准教授の指導の下、学生指導を行う。

1. 授業科目名	**医療看護実習Ⅰ**
2. 配当年次・配当期	1 年次・前期
3. 単位数・時間数	1 単位・40 時間
4. 実習目的	医療施設内における施設管理の実際や、看護業務、看護場面を見学し、医療施設や看護職の役割と機能について学ぶ。また患者とのコミュニケーションを通して、入院生活や病気の体験を知ることを目的とする。この実習は看護専門職として社会化していくプロセスの初期段階として最初の位置づけの実習でもある。
5. 到達目標	① 入院患者の生活や病気の体験を知る。 ② 地域における医療施設の役割と機能について学ぶことができる。 ③ 看護業務、看護場面の見学を通して、看護職者の役割と機能について学ぶことができる。
6. 実習内容	① 臨地実習に臨むための実習前オリエンテーションを受け、臨地実習に必要な知識、マナー、身体準備を整える。 ② 実習施設の看護部門による説明や、施設内見学より施設管理、多職種連携の実際や地域での役割を学ぶ。 ③ 看護師に同行して看護業務や看護援助を見学する。 ④ 看護師から紹介を受けた患者とのコミュニケーションを通して、患者の入院生活や病気の体験を知る。 ⑤ 学内および学外で看護師や教員、学生同士でカンファレンスを行うことで個々の学びを深める。 ⑥ 実習を通して看護職として成長していくために、自己の傾向や学習課題に気づく。
7. 評価方法	実践・カンファレンスへの参加態度（30%）、目標達成度・レポート（70%）
8. 期間	1 週間
9. 実習スケジュール	80 名が一斉に 10～25 名ずつ分かれて 6 施設で実施する。
10. 学生数	5 名 1 グループで 16 グループ編成（計 80 名）とする。
11. 担当教員数	教授 2 名、講師 5 名、助教 2 名、助手 4 名で計 13 名
12. 実習施設・教員配置	明石市立市民病院：藤原講師・助手ｃ・助手ｅ・助手ｆ(平成 27 年度は助手ｇ) 六甲アイランド甲南病院：大谷講師 西宮市立中央病院：玉木教授 甲南病院：奥井助教(平成 27 年度は馬場講師) 関西労災病院：鷲田助教(平成 27・28 年度は牛越講師) 協立温泉病院：元木講師、助手ｄ(平成 27 年度は助手ａ) ※助手ｃ・助手ｅ・助手ｆ・助手ｇは藤原講師の指導の下、助手ａ・助手ｄは元木講師の指導の下、学生指導を行う。

1. 授業科目名	成育看護実習Ⅰ
2. 配当年次・配当期	1 年次・後期
3. 単位数・時間数	1 単位・40 時間
4. 実習目的	地域で生活する育成期にある人々（乳幼児）との関わりを通して、健康な生活のあり方を理解し、その支援について学ぶ。
5. 到達目標	① 乳幼児との間で援助的人間関係が構築できる。 ② 乳幼児の成長・発達が理解できる。 ③ 乳幼児の生活について理解できる。 ④ 健康な生活のための支援について考察できる。 ⑤ 援助者としての態度、学習姿勢が習得できる。
6. 実習内容	事前にオリエンテーションを受けて、実習の進め方、留意事項など理解する。 ① 実習場は神戸市内の保育所・幼稚園とする。 ② 臨地でオリエンテーションを受け、各クラスに配置する。乳幼児が生活する場としての設備や環境について理解する。 ③ 乳幼児の生活（遊び、食事、更衣、清潔、休息など）を見学し、それぞれの年齢に沿った成長発達について理解する。 ④ 乳幼児に対する保育士・幼稚園教諭の活動を理解する。 ⑤ 乳幼児とコミュニケーションを図り、援助的関係を築く。 ⑥ 保育士・幼稚園教諭の指導の下、生活援助に参加する。 ⑦ 乳幼児にとっての健康な生活のあり方とその援助について理解する。 ⑧ 看護師と保育士・幼稚園教諭との連携や情報共有について理解する。 ⑨ 多職種との連携・協働を通して、看護の役割について理解する。 ⑩ 看護職としての援助的態度を探索する。 ⑪ 実習後にカンファレンスを行い、学びを共有し学びを深める。 ⑫ 実習目標の達成度を確認、今後の学習の課題を明らかにする。
7. 評価方法	実習達成度（70%）、課題レポート（20%）、実習態度（10%）
8. 期間	1 週間
9. 実習スケジュール	80 名が 40 名ずつ 2 クールに分かれて 2 施設で実施する。コミュニティ看護実習Ⅰとセットで行う。
10. 学生数	5 名 1 グループで 16 グループ編成（計 80 名）とする。
11. 担当教員数	教授 2 名、准教授 1 名、講師 3 名、助教 2 名、助手 1 名で計 9 名
12. 実習施設・教員配置	神戸女子大学附属高倉台幼稚園：西方助教、岡本助教、助手ｇ 神女中山手保育園：菅野講師(平成 27 年度は田村准教授) ※助手ｇは西方助教・岡本助教の指導の下、学生指導を行う。

1. 授業科目名	コミュニティ看護実習Ⅱ（老年）
2. 配当年次・配当期	2 年次・後期
3. 単位数・時間数	2 単位・80 時間
4. 実習目的	入院している老年期の患者について、加齢による身体機能の変化、健康障害、生活障害および心理・社会面の変化から、健康上の課題をアセスメントし、対象の価値観を尊重しながら、残存機能を活用した援助する能力を養う。
5. 到達目標	① 加齢に伴う変化、健康障害をもつ高齢患者について理解し、高齢者の療養の場、老年看護のあり方について学ぶことができる。 ② 虚弱、慢性疾患が複合化した高齢者の病態や障害について理解し、高齢者の残存機能を活かした日常生活援助を計画し、実践することができる。 ③ 高齢者と家族、高齢者を取り巻く多職種についても学びを深め、援助の必要性を理解できる。
6. 実習内容	病院にて、以下のとおり 2 週間の実習を行う。 ① 原則として、1～2 名の高齢患者を受け持ち、個別性を尊重した情報収集･アセスメント･計画立案･評価･修正といった一連の看護過程を展開する。 ② 受け持ち患者と援助的関係を築く。 ③ 日常的な生活援助を実施するにあたり患者に説明し同意を得る。 ④ 日常的な生活援助を指導の下で実施する。 ⑤ 実習内容は一定の様式の実習記録に記載する。 ⑥ 日々のカンファレンスにおいて、情報や学びを共有し、学習上の問題解決を図る。 ⑦ 中間カンファレンスと最終カンファレンスにおいて、実習で得た具体的な学びと健康障害を持つ高齢者および高齢者へのケアの特徴について考察する。
7. 評価方法	① 実習記録、レポート（40%） ② 実施内容（看護技術、コミュニケーション技術など）（40%） ③ 実習態度、グループ内での取り組み（チームワーク、積極性など）（20%）
8. 期間	2 週間
9. 実習スケジュール	80 名が 20 名ずつ 4 クールに分かれて 3 施設で実施する。
10. 学生数	5 名 1 グループで 16 グループ編成（計 80 名）とする。
11. 担当教員数	教授 1 名、准教授 1 名、助教 1 名、助手 1 名で計 4 名
12. 実習施設・教員配置	明石市立市民病院： 深山助教 六甲アイランド甲南病院：助手ｂ 甲南病院：深山助教 ※助手ｂは藤田教授の指導の下、学生指導を行う。

1. 授業科目名	医療看護実習Ⅱ（精神）
2. 配当年次・配当期	2 年次・後期
3. 単位数・時間数	2 単位・80 時間
4. 実習目的	精神科病院およびデイケア等の通所施設で実習を行う。病棟実習では精神障がいをもつ人を受け持ち、人間関係構築のプロセスを体験しながら、自己洞察、他者理解を深める。また、対象者の体験に寄り添い、生活援助を実践しながら、心身の健康状態や心理・社会的要因が生活や対人関係に及ぼす影響を理解し、セルフケアの維持・向上、自立や自己実現に向けた看護援助について考察する。さらに、精神科病院や地域で行われているさまざまな治療的アプローチを学び、チーム医療における看護職の役割や他職種との連携、精神障がいをもつ人が利用できる社会資源について学ぶ。
5. 到達目標	① 精神障がいをもつ人の価値観や人権を尊重しながら関わり、人間関係構築のプロセスを体験しながら、自己洞察、他者理解を深めることができる。 ② 精神障がいをもつ人の体験に寄り添い、生活援助を実践しながら、心身の健康状態や心理・社会的要因が生活や対人関係に及ぼす影響を理解することができる。 ③ 精神障がいをもつ人のセルフケアの維持・向上、自立や自己実現に向けた看護援助について考察することができる。 ④ 精神病院や地域で行われているさまざまな治療的アプローチを学び、チーム医療における看護職の役割や他職種との連携、精神障がいをもつ人が利用できる社会資源について知ることができる。
6. 実習内容	① 病院・病棟オリエンテーション。 ② 受け持ち患者とのコミュニケーション、プロセスレコードを用いた振り返り。 ③ 受け持ち患者への生活援助。 ④ 受け持ち患者と活動をともにし、作業療法や心理教育などの治療的アプローチを体験する。 ⑤ 受け持ち患者の情報収集、アセスメント、看護計画の立案。 ⑥ 精神科病院等における看護師の役割について理解する。 ⑦ 精神科病院、通所施設でのチームアプローチと他職種との連携を学ぶ。 ⑧ 受け持ち患者を通して精神障がい者が利用できる社会資源について理解する。 ⑨ カンファレンスを通して、それぞれの学生の体験や実習上の課題を共有し、検討する。 ＊帰校日を設ける
7. 評価方法	目標到達度（70%）、課題レポート（10%）、カンファレンスへの参加度と実習態度（20%）
8. 期間	2 週間

9. 実習スケジュール	80 名が 20 名ずつ 4 クールに分かれて 2 施設で実施する。
10. 学生数	5 名 1 グループで 16 グループ編成（計 80 名）とする。
11. 担当教員数	教授 1 名、講師 1 名、助手 2 名で計 4 名
12. 実習施設・教員配置	兵庫県立光風病院：助手ｃ 明石病院：助手ｄ ※助手ｃ・助手ｄは玉木教授の指導の下、学生指導を行う。

1. 授業科目名	医療看護実習Ⅱ（急性期）
2. 配当年次・配当期	3 年次・前期・後期
3. 単位数・時間数	3 単位・120 時間
4. 実習目的	医療施設において、周手術期あるいは急性期にある成人期から老年期の患者を受け持ち、侵襲に対する多様なリスクと生体反応、回復に影響を及ぼす患者・家族の特性をアセスメントし、苦痛を緩和して患者・家族のもつ回復力を最大限に引き出すための看護援助を学ぶことを目標とする。また、早期の社会復帰に向けたチーム医療における看護師の役割、入院前後の多職種、多施設・機関の連携の実際を理解し、より効果的な急性期医療・看護について考えることを目指す。
5. 到達目標	① 受け持ち患者・家族に対し、看護職として適切な対話の在り方を模索し、援助的人間関係を積極的に構築できる。 ② 侵襲を受ける急性期、周手術期の患者の生体反応について、患者・家族の示す反応、疾患、治療と関連付けて理解し、悪化リスクや回復への影響要因をアセスメントできる。 ③ 急性期、周手術期にある患者・家族の精神・社会面の特徴を踏まえて、精神・社会面のニーズをアセスメントできる。 ④ 苦痛を緩和し、回復を促進するために必要な援助を、患者・家族の状態に合わせて計画し、基本的な看護援助を安全・安楽に実施したうえで、援助の評価を行うことができる。 ⑤ 患者・家族の状態と個別性に応じた早期からのリハビリテーションに向けた他の職種や他施設・機関との連携の実際を知り、看護の役割について考察できる。 ⑥ 看護学生として、患者・家族や医療者をはじめ、関係する他者と共に学ぶ態度と、実践を通じた学び方を身につける。 ⑦ 医療チームの一員として、責任ある行動をとり、積極的に学習に取り組むことができる。
6. 実習内容	① 原則として、1～2 名の周手術期患者あるいは急性疾患の患者を受け持ち、看護過程を展開する。 ② 受け持ち患者の情報収集、アセスメントに基づき、術前・術後の看護問題を挙げ、優先順位の高い問題に対して看護計画を立案する。 ③ 原則として、受け持ち患者の手術や血管内治療等を見学し、手術中あるいは治療中の看護を学ぶ。 ④ 術前は、指導を受けながら、術前検査、術前オリエンテーション、術前訓練などを体験する。 ⑤ 術後は、アセスメントと看護計画に基づき、術後の観察、苦痛の緩和、呼吸ケア、術後清潔の援助、離床の援助、退院指導な

	どについて、指導を受けながら実施する。 ⑥ 実施した看護を評価し、計画を修正する。 ⑦ 退院や転院に向けた他職種・他施設・他機関との連携の実際を知る。 ⑧ 日々のカンファレンスにおいて、情報や学びを共有し、学習上の問題解決を図る。 ⑨ 実習を通じて、周手術期あるいは急性期にある患者・家族の特徴と看護の特徴について考察する。
7. 評価方法	目標達成度・実践記録（80%）、実習態度（10%）、カンファレンスへの参加度（10%）
8. 期間	3 週間
9. 実習スケジュール	80 名が 20 名ずつ 4 クールに分かれて 3 施設で実施する。
10. 学生数	5 名 1 グループで 16 グループ編成（計 80 名）とする。
11. 担当教員数	教授 2 名、講師 1 名、助手 2 名で計 5 名
12. 実習施設・教員配置	明石市立市民病院：助手 e 神戸市立医療センター中央市民病院：助手 f 関西労災病院：横内教授、藤田教授 ※助手 e・助手 f は横内教授の指導の下、学生指導を行う。

1. 授業科目名	医療看護実習Ⅱ（慢性期）
2. 配当年次・配当期	3 年次・前期・後期
3. 単位数・時間数	3 単位・120 時間
4. 実習目的	医療施設の成人病棟において、ライフサイクルの成人期から老年期にある人で慢性的な健康問題を抱える人を受け持ち、患者の生活状況と病気の体験を理解しながら、身体を測定し検査を受けること、長期に疾病や病気の症状を管理していくこと、継続的な薬物療法を行っていくことへの看護援助を学ぶことを目標とする。また、患者を地域で支えていくための看護師の継続的な視点、入院前後の患者を取り巻く環境の調整がどのように行われているかを理解し、慢性的な病気を抱えた人が個々の安寧や可能性を見出すことができる慢性期医療・看護について考えることを目指す。
5. 到達目標	① 受け持ち患者・家族に対し、看護職として適切な対話の在り方を模索し、援助的人間関係を積極的に構築できる。 ② 疾患管理や症状管理、リハビリテーションなどを必要とする患者の身体、生活、心理的変化を疾患や治療の特徴、ライフサイクルや社会的役割など、患者が置かれた状況と関連付けて理解し、患者の健康ニーズをアセスメントできる。 ③ 患者の健康ニーズに応じた看護援助を、患者・家族の状態に合わせて計画し、安全・安楽に実施したうえで、援助の評価を行うことができる。 ● 慢性期・回復期にある患者には、自らの疾患や症状や障害を理解して積極的に管理していけるよう、患者のセルフケアを維持・促進するために必要な援助など。 ● ターミナル期にある患者には心身の苦痛を緩和するための援助など。また、患者が最期まで自分らしく生きることを看護師はどのように支援できるか、実際の看護実践過程を見て考察する。 ④ 適切な疾患コントロールに向けた患者教育、チーム医療、退院調整、地域連携などの実際を知り、看護の役割について考察できる。 ⑤ 看護学生として、患者・家族や医療者をはじめ、関係する他者と共に学ぶ態度と、実践を通じた学び方を身につける。 ⑥ 医療チームの一員として責任のある行動をとり、積極的に学習に取り組むことができる。
6. 実習内容	① 原則として、1～2 名の慢性疾患患者を受け持ち、看護過程を展開する。 ② 受け持ち患者の情報収集、アセスメントに基づき、入院中・退院後の看護問題を挙げ、短期的・長期的な視点で看護計画を立

	案する。 ③　患者の検査や治療、集団教育等を見学し、様々な場面において患者がどのような状況にあるかを理解する。 ④　服薬指導、栄養指導、リハビリテーションなどを受け持ち患者と一緒に体験する。 ⑤　治療開始後は、アセスメントと看護計画に基づき、身体状況や症状の観察・管理、苦痛の緩和、治療援助、生活時間の再編成、退院指導などについて指導を受けながら実施する。 ⑥　よりよい看護実践を導き出すために、行った看護実践に対する患者の反応を捉え、振り返ることで計画の評価、修正につなげる。 ⑦　日々のカンファレンスにおいて、情報や学びを共有し、学習上の問題解決を図る。 ⑧　実習を通じて慢性期にある患者・家族の特徴と看護の専門性について考察する。
7. 評価方法	目標達成度・実践記録（80%）、実習態度（10%）、カンファレンスへの参加度（10%）
8. 期間	3 週間
9. 実習スケジュール	80 名が約 20 名ずつ 4 クールに分かれて 3 施設で実施する
10. 学生数	5 名 1 グループで 16 グループ編成（計 80 名）とする
11. 担当教員数	教授 1 名、講師 2 名、助教 2 名で計 5 名
12. 実習施設・教員配置	明石市立市民病院：藤原講師 甲南病院：奥井助教 協立温泉病院：鷲田助教

1. 授業科目名	成育看護実習Ⅱ（小児）
2. 配当年次・配当期	3 年次・前期・後期
3. 単位数・時間数	2 単位・80 時間
4. 実習目的	小児看護に関する既習の知識・技術を用いて、看護の理論と実践を結び付けて理解できる能力を養う。看護実践の場で、様々な成長発達段階にある子どもの理解、様々な健康状態にある子どもへの看護を学ぶ。具体的には、子どもが入院している施設で2週間の実習を行い、原則1人の子どもを受け持つ。そして、医療施設で療養する子どもを身体的、心理的、社会的側面から全人的に理解する。子どもとその家族との援助的人間関係を築き、関わりを通して、必要な看護を判断し、安全かつ安心できる看護実践能力の基礎を習得する。また、子どもと家族がよりよい療養生活を送るための、社会資源や多職種連携のあり方について学び、それらを通して看護師の役割について理解する。
5. 到達目標	① 子どもを全人的に理解することができる。 ② 子どもやその家族と援助的人間関係を築くことができる。 ③ 子どもが体験している療養生活について理解することができる。 ④ 健康逸脱や療養生活が子どもとその家族におよぼす影響を理解することができる。 ⑤ 子どもとその家族に対して看護過程を展開することができる。 ⑥ 小児医療の中での看護師の役割が理解できる。
6. 実習内容	事前にオリエンテーションを受けて、実習の進め方、留意事項など理解する。 ① 実習の場は子どもが入院している施設とする。 ② 病棟の管理者からオリエンテーションを受け、子どもが療養する場としての施設の環境について理解する。 ③ 原則として 1 人の子どもを受け持つ。 ④ 受け持ちとの援助関係を築き、それを発展させる。 ⑤ 受け持ちを通して、看護過程を展開する。 ・子どもとその家族から情報を収集し、アセスメントを行う。 ・看護目標、看護計画を立案し、看護実践を行う。 ・子どもや家族の反応をとらえて、評価を行う。 ・実習内容の記録を行う。 ⑥ チームの一員としての報告・連絡・相談をする。 ⑦ 受け持ち以外でも、子どもの看護について、可能な限り見学や、体験をし、看護師の役割を理解する。 ⑧ 看護師が多職種と協働している場面に参加する。 ⑨ 日々の学びを共有するとともに、次の日の課題とそれを解決するための方策をグループで話し合う。 ⑩ 学びの共有と実践の振り返りのため、カンファレンスを行う。 ⑪ 実習目標の達成度を確認、今後の学習の課題を明らかにする。
7. 評価方法	実習到達度（70%）、レポート（20%）、実習態度（10%）
8. 期間	2 週間

9. 実習スケジュール	80 名が 5～20 名ずつ 9 クールに分かれて 7 施設で実施する。
10. 学生数	5 名 1 グループで 16 グループ編成（計 80 名）とする。
11. 担当教員数	教授 1 名、講師 2 名、助教 1 名、助手 1 名で計 5 名
12. 実習施設・教員配置	西宮市立中央病院：助手ｇ 兵庫県立こども病院：西方助教、助手ｇ 六甲アイランド甲南病院：助手ｇ 神戸徳洲会病院：西方助教 姫路聖マリア病院：菅野講師、西方助教 神戸中央病院：菅野講師、助手ｇ 明石市立市民病院：丸山講師 ※助手ｇは内教授の指導の下、学生指導を行う。

1. 授業科目名	成育看護実習Ⅱ（母性）
2. 配当年次・配当期	3 年次・前期・後期
3. 単位数・時間数	2 単位・80 時間
4. 実習目的	周産期にある母子との関わりや周産期看護に携わる看護職との関わりを通して、母子の生理的変化や心身の適応過程ならびに健康ニーズを理解し、その健康状態の維持・促進や親役割を取得するうえで必要な看護の知識・技術・態度を学ぶことを目標とする。母親と同様に親となる過程にあるパートナーやその家族のニーズにも目を向け、看護者としての関わりを考える。実習を通して、母子の健康生活を支援するための保健医療制度・社会資源についても学ぶ。これらを統合して、母性看護における看護師の役割について考察する。
5. 到達目標	① 妊産婦と新生児の心身における生理的変化を理解する。 ② 妊産婦と新生児に対して適切な看護過程の展開を実施する。 ③ 妊娠期、産褥期における保健指導について理解する。 ④ 母児の愛着形成および親役割取得を促進するための援助について理解する。 ⑤ 母子と家族に関係する社会資源について考える。 ⑥ これらの目標を通して母性看護の役割とは何かを考える。
6. 実習内容	① 病棟では 1 組の母子を受け持ち、対象を理解し、看護過程を展開する。 ② 外来では妊婦健診を受診する妊婦を受け持ち、妊娠期における身体的・心理的・社会的にどのような移行・変化を体験されているのかを理解する。 ③ 病棟および外来での保健指導や周産期に特有な検査、育児支援活動を見学する。 ④ 日々のカンファレンスでは、その日の実習を通して得た学びを学生間で共有する。加えて、テーマを決めて討議することにより、疑問や困難の解決や自己の学びの明確化を図り、実習課題の達成に向けた学習を行う。
7. 評価方法	実習態度（10%）、実習記録（40%）、課題レポート（40%）、カンファレンス参加と発表態度（10%）
8. 期間	2 週間
9. 実習スケジュール	80 名が 5～20 名ずつ 7 クールに分かれて 7 施設で実施する
10. 学生数	5 名 1 グループで 16 グループ編成（計 80 名）とする
11. 担当教員数	教授 1 名、准教授 1 名、講師 1 名、助教 1 名で計 4 名
12. 実習施設・教員配置	赤穂市民病院：岡本助教 パルモア病院：下敷領教授 第二協立病院：田村准教授 兵庫県立こども病院：下敷領教授、牛越講師 兵庫県立西宮病院：牛越講師 関西労災病院：岡本助教 なでしこレディースホスピタル：岡本助教

1. 授業科目名	総合実習（地域・在宅）
2. 配当年次・配当期	4 年次・前期
3. 単位数・時間数	4 単位・160 時間
4. 実習目的	対象の特性に応じた計画的な看護を実践する能力を養うとともに地域・在宅における看護の継続性を体験的に学ぶ。また、看護専門職として健康問題を持った人やその人を取り巻く保健・医療・福祉の課題に向かう態度を身につけ、コミュニティにおける看護の実践を向上させる研究的な視点につなげていくことを学ぶ。病院における退院調整や在宅や地域の家庭訪問の場面に入り、家族背景に応じた調整の仕方、社会資源の活用の仕方、他施設との連携などを学び、複数の患者を受け持ち、担当している対象者への援助につなげていく。
5. 到達目標	① 対象の特性に応じた計画的な看護を実践しながら、地域・在宅における看護の継続性を考えることができる。 ② 在宅療養の場と在宅療養をしている人を理解することができる。 ③ 対象者と家族背景に応じた調整の仕方、社会資源の活用の仕方、他施設との連携を学ぶことができる。
6. 実習内容	① 2 人以上の人を担当して、個別的な看護援助を実践する。 ② 看護援助の実践においては、退院後の継続性を視野に入れながらアセスメント、看護計画の立案、実施、評価を展開する。 ③ 学生としてチームに所属し、チーム員や他職種とコミュニケーションをとり、チームの一員としての人間関係を作る。そのうえで、他職種とのカンファレンスやミィーティングに参加できるよう調整したうえで参加する。 ④ 地域と病院のつながりを考えていくため、看護の継続性について理解できるよう、地域連携の見学や専門外来への同席を行う。 ⑤ 学生の担当させていただいている方のカンファレンスにチームの一員として参加して発言し、看護援助の検討、調整を行う。 ⑥ 在宅療養患者が参加する患者教室、保健指導の場面に参加し、患者教育の実際や集団における療養者の主体的な健康への取り組みについて学ぶ。 ⑦ 病院における退院調整や退院後の家庭訪問の場に同席し、在宅訪問の場に同席し、病院以外の場所で人がどのように療養し、どのような援助が必要であるかを考える。
7. 評価方法	実習のねらいに関する到達度（80%）、レポート・記録物の提出（20%）
8. 期間	4 週間

9. 実習スケジュール	実習配置、グループ人数については研究領域や実習施設の受入れ人数等を考慮して最終決定する。
10. 学生数	実習配置、グループ人数については研究領域や実習施設の受入れ人数等を考慮して最終決定する。
11. 担当教員数	教授 8 名、准教授 2 名、講師 9 名、助教 7 名で計 26 名（必要に応じて助手 a～） ※助手は教員の指導の下、学生指導を行う。
12. 実習施設	明石市立市民病院 六甲アイランド甲南病院 明石病院 神戸市立医療センター中央市民病院 兵庫県立光風病院 西宮市立中央病院 姫路聖マリア病院 甲南病院 関西労災病院 協立温泉病院 総合リハ訪問看護ステーション 三宮あんしんすこやかセンター 鈴蘭台あんしんすこやかセンター 真野真陽あんしんすこやかセンター たかとりあんしんすこやかセンター 平野西神あんしんすこやかセンター 訪問看護ステーション　あさんて 宙訪問看護ステーション 神鋼ケアライフ株式会社　垂水ステーション 神鋼ケアライフ株式会社　六甲ステーション 神鋼ケアライフ株式会社　岡本ステーション・本山西部あんしんすこやかセンター 母と子の上田病院 済生会兵庫県病院

1. 授業科目名	課題探究（※実習）
2. 配当年次・配当期	4 年次・通年
3. 単位数・時間数	2 単位・80 時間
4. 実習目的	看護の総合的な能力を高め、実践を向上させる姿勢及び探索的な態度を養う。総合実習（地域・在宅）および課題探究の演習を踏まえることにより、専門的な知識及び看護実践と研究的な取り組みの一連を経験し、学生自身で看護学の統合を図る。
5. 到達目標	【看護師】 ① 看護の総合的な能力を高め、実践者としての姿勢を身につける。 ② 臨床の看護課題に探索的に取り組み、その成果をまとめ、学内で発表することが出来る。 ③ 研究の倫理基準及び倫理的態度を学ぶことができる。 【保健師】 ① 公衆衛生看護の視点を持って、看護の総合的な能力を高め、実践者としての姿勢を身につける。 ② 臨地の健康課題に探索的に取り組み、その成果をまとめ、学内で発表することが出来る。 ③ 研究の倫理基準及び倫理的態度を学ぶことができる。 【助産師】 ① 看護の総合的な能力を高め、実践者としての姿勢を身につける。 ② 臨床の看護課題に探索的に取り組み、その成果をまとめ、学内で発表することが出来る。 ③ 研究の倫理基準及び倫理的態度を学ぶことができる。
6. 実習内容	① 総合実習の経験から関心のあるテーマについて問題意識をもって選択し、その看護課題に探索的に取り組む過程を通して看護にまつわる現象や援助の方法、看護者の役割について理解を深める。 ② テーマに適合した文献検討及び様々な場での体験を通して学生が選択したテーマをもった対象をどのように理解していくかを検討する。 ③ 学生のテーマに沿ったフィールドにおいて実践活動を行い、フィールドの文化や対象者の特性をつかむ。
7. 評価方法	目標到達度（40%）、実習態度（20%）、討議への参加度（20%）、課題レポートの内容（20%）
8. 期間	2 週間
9. 実習スケジュール	実習配置、グループ人数については、各専門科目群担当教員の指導状況や実習施設の受入れ人数等を考慮して最終決定する。
10. 学生数	実習配置、グループ人数については、各専門科目群担当教員の指導状況や実習施設の受入れ人数等を考慮して最終決定する。
11. 担当教員数	教授 8 名、准教授 2 名、講師 9 名で計 19 名（必要に応じて助手 a

	～) ※助手は教員の指導の下、学生指導を行う。
12. 実習施設	【看護師】 明石市立市民病院 六甲アイランド甲南病院 明石病院 神戸市立医療センター中央市民病院 兵庫県立光風病院 西宮市立中央病院 姫路聖マリア病院 甲南病院 関西労災病院 協立温泉病院 総合リハ訪問看護ステーション 【保健師】 三宮あんしんすこやかセンター 鈴蘭台あんしんすこやかセンター 真野真陽あんしんすこやかセンター たかとりあんしんすこやかセンター 平野西神あんしんすこやかセンター 訪問看護ステーション　あさんて 宙訪問看護ステーション 神鋼ケアライフ株式会社　垂水ステーション 神鋼ケアライフ株式会社　六甲ステーション 神鋼ケアライフ株式会社　岡本ステーション・本山西部あんしんすこやかセンター 芦屋健康福祉事務所 宝塚健康福祉事務所 伊丹健康福祉事務所 加古川健康福祉事務所 明石健康福祉事務所 加東健康福祉事務所 中播磨健康福祉事務所 龍野健康福祉事務所 赤穂保健福祉事務所 豊岡健康福祉事務所 朝来健康福祉事務所 丹波健康福祉事務所 洲本健康福祉事務所

	神戸市保健所 神戸市東灘保健センター 神戸市灘保健センター 神戸市中央保健センター 神戸市兵庫保健センター 神戸市北保健センター 神戸市長田保健センター 神戸市須磨保健センター 神戸市垂水保健センター 神戸市西保健センター 富士電機株式会社 【助産師】 母と子の上田病院 姫路聖マリア病院 済生会兵庫県病院 ＊「課題探究」については、当初申請時の「課題研究」から科目名称を変更している。この科目名称の変更に関して、実習施設の承諾書は、「課題研究」で提出しているが、「看護学部（仮称）は設置構想中のため、授業科目名等は予定であり変更する場合があります。」と記載しており、本件の「課題研究」から「課題探究」への変更については、あくまで科目名称の変更であり、内容を変更するものではないため、承諾書の差し替えは行わない。ただし、各実習施設に対しては、科目名称の変更について説明を完了している。また、この文言のない兵庫県（健康福祉事務所）については、説明の上、再度承諾書を提出してもらっている。

1. 授業科目名	公衆衛生看護活動論実習
2. 配当年次・配当期	4 年次・前期
3. 単位数・時間数	2 単位・80 時間
4. 実習目的	地域で生活している人々の健康課題を把握し、セルフケア能力を高めるための家庭訪問、健康相談、健康診断、健康教育といった個別・集団の保健指導技術を理解する。また、他職種との連携、社会資源の活用、マネージメント能力といった公衆衛生看護活動における看護職の役割を理解する。
5. 到達目標	① 地域で生活している人々の実態に触れ、様々なライフステージ・健康レベルの人々の健康課題を把握し、地域全体の課題としてとらえることができる。 ② 地域で展開される保健師活動の実際から、保健師の機能や役割を理解する。 ③ 地域における社会資源の把握、他職種との連携を説明できる。
6. 実習内容	① 実習は保健所が管轄する地域での住民組織や集団等、地域の多様な場で行う。 ② 保健所およびその管轄する市町村から 1 市町村を担当し、実習をする。 ③ 実習効果を上げるために、公衆衛生看護管理論実習と合わせて行う。 ④ 担当する保健所および管轄する地域において展開されている様々な健康レベル、ライフステージの保健・福祉事業に参加し、実習する。 ⑤ 保健所が管轄する地域で実施されている保健・福祉事業に関するオリエンテーションを受ける。 ⑥ 健康教育、家庭訪問、健康診断、健康相談などの事業を見学すると共に、学生でグループ又はペアで保健指導を担当し、計画、実施、評価を行う。 ⑦ 地域で展開されている地域組織活動の場や自主グループなど地域の多様な場での実習を行う。 ⑧ 保健所で実習のまとめの発表会を行い､保健師からの助言を受け、学びを深める。 ⑨ 実習終了時のカンファレンスで、保健師の役割や関連職種との連携、地域ケアシステム等について学びを共有し、自己の課題を探索、レポートにまとめる。
7. 評価方法	受講態度（10%）、実習評価（70%）、レポート（20%）により総合評価する
8. 期間	2 週間
9. 実習スケジュール	実習前年度に兵庫県看護系大学協議会と調整

10. 学生数	20 名以内
11. 担当教員数	教授 1 名、講師 2 名、助教 3 名、助手 2 で計 8 名 ※助手は魚里教授の指導の下、学生指導を行う。
12. 実習施設 教員配置	芦屋健康福祉事務所 宝塚健康福祉事務所 伊丹健康福祉事務所 加古川健康福祉事務所 明石健康福祉事務所 加東健康福祉事務所 中播磨健康福祉事務所 龍野健康福祉事務所 赤穂保健福祉事務所 豊岡健康福祉事務所 朝来健康福祉事務所 丹波健康福祉事務所 洲本健康福祉事務所 神戸市保健所 神戸市東灘保健センター 神戸市灘保健センター 神戸市中央保健センター 神戸市兵庫保健センター 神戸市北保健センター 神戸市長田保健センター 神戸市須磨保健センター 神戸市垂水保健センター 神戸市西保健センター

1. 授業科目名	公衆衛生看護管理論実習
2. 配当年次・配当期	4 年次・前期
3. 単位数・時間数	1 単位・40 時間
4. 実習目的	保健所等の行政機関において実習を行い、保健所の機能と役割、地域特性と健康課題、保健師活動について学ぶ。行政機関における看護職の役割や保健医療福祉の連携について理解し、地域の人々の健康課題を把握するための地域看護診断を行い、セルフケア能力を高めるための公衆衛生看護管理技術を学ぶ。また、公衆衛生看護管理に不可欠なPDCAサイクルの展開方法や地域ケアシステムづくり、危機管理体制について理解する。実習効果を上げるために、公衆衛生看護活動論実習と合わせて行う
5. 到達目標	① 保健師活動の基本となる PDCA サイクルの実際について理解する。 ② 既存の地域ケアシステムにおける保健師の機能や役割を理解し説明できる。 ③ 実習地の地域看護診断を行い、地域看護計画をたてることができる。
6. 実習内容	① 保健所等の行政機関において実習を行う。 ② 保健所とその管轄する市町村から 1 市町村を担当し、実習を行う。 ③ 実習効果を上げるために、公衆衛生看護活動論実習と合わせて行う。 ④ 保健所において、保健所の機能と役割、地域特性と健康課題、保健師活動の概要等のオリエンテーションを受ける。 ⑤ 担当する市町村の資料やデータに基づいて事前学習し、レポートにまとめ、地域特性と健康課題、保健師活動の概要等のオリエンテーションを受ける。 ⑥ PDCA サイクルに基づいて実習する。 1）保健所の管轄する 1 市町村を担当し、地域看護診断を行う。 2）担当した市町村の地域看護診断結果から、健康課題を抽出し、保健計画をたてて、実施可能なものは実施、評価する。 3）担当した保健所及び市町村の地域ケアシステムや保健医療計画等について自己学習した上で、保健師からの助言を受け、学びを深める。
7. 評価方法	受講態度（10%）、実習評価（70%）、レポート（20%）により総合評価する
8. 期間	1 週間
9. 実習スケジュール	実習前年度に兵庫県看護系大学協議会と調整
10. 学生数	20 名以内
11. 担当教員数	教授 1 名、講師 1 名、助教 3 名、助手 3 名で計 8 名 ※助手は魚里教授の指導の下、学生指導を行う。

12. 実習施設 教員配置	芦屋健康福祉事務所 宝塚健康福祉事務所 伊丹健康福祉事務所 加古川健康福祉事務所 明石健康福祉事務所 加東健康福祉事務所 中播磨健康福祉事務所 龍野健康福祉事務所 赤穂保健福祉事務所 豊岡健康福祉事務所 朝来健康福祉事務所 丹波健康福祉事務所 洲本健康福祉事務所 神戸市保健所 神戸市東灘保健センター 神戸市灘保健センター 神戸市中央保健センター 神戸市兵庫保健センター 神戸市北保健センター 神戸市長田保健センター 神戸市須磨保健センター 神戸市垂水保健センター 神戸市西保健センター

1. 授業科目名	助産学実習
2. 配当年次・配当期	4 年次・前期
3. 単位数・時間数	8 単位・320 時間
4. 実習目的	妊産褥婦と胎児・新生児の心身の経過を判断し、ニーズ、健康課題・問題を理解し、必要な援助を計画・実践・評価する能力を養う。特に、正常分娩を中心とした助産援助を安全・安楽・満足を考慮して実践するために必要な基礎的能力（知識・技術・態度）を習得し、発展させる。正常な経過に加えて、異常の予測と判断ができ、適切な対応ができる能力を習得する。また、妊産褥婦と新生児に対し必要な保健指導が実践できる能力を養う。助産師としての役割と責務についても実習を通して理解する。これらを通して、助産を中心とした看護の方法を学び、助産師の役割について考察を深める。
5. 到達目標	① 妊娠・分娩・産褥経過および新生児期の経過を理解し、正常な経過であるかどうかの判断およびリスク予測ができる。 ② 妊婦、産婦、褥婦、新生児およびその家族に関する助産診断を立案し、助産過程を展開する。 ③ 対象に必要な保健指導を企画し実施できる。 ④ 分娩がより正常に円滑に進行するような経過および健康生活への援助ができる。 ⑤ 分娩介助技術の基本的手技を習得し、安全、安楽、満足に配慮した支援ができる。 ⑥ 正常から逸脱した場合の判断・予測および対応を理解できる能力を養う。 ⑦ 助産師が母子とその家族の健康生活を援助するために果たすべき役割と責務について理解し説明することができる。 ⑧ 継続看護の視点で、地域における母子看護の役割について考える。
6. 実習内容	① 正常分娩の介助（10 例）。 ② 分娩第一期から分娩終了後 2 時間までを受け持ち助産過程を展開する。 ③ 間接介助および出生直後の新生児の処置・ケア（2 例以上）。 ④ 妊娠期から産褥期（母子）にかけ継続した受け持ちを行い、継続性を考慮した看護を提供し、分娩・産褥に向けた対象の健康状態の維持・推進および分娩準備、出産後退院に向けての援助を行う（1 例）。 ⑤ 産婦人科外来において妊婦健診および保健指導の見学および実施。 ⑥ 帝王切開分娩の見学（1 例以上）。

7. 評価方法	実習態度（10%）、実習記録（40%）、課題レポート（40%）、カンファレンス参加と発表態度（10%）
8. 期間	8 週間
9. 実習スケジュール	対象学生 8 名以内を 2～4 名ずつに分け、3 施設で実施する
10. 学生数	8 名以内
11. 担当教員数	教授 1 名、准教授 1 名、講師 1 名、助教 1 名で計 4 名
12. 実習施設・教員配置	母と子の上田病院:田村准教授 姫路聖マリア病院:牛越講師 済生会兵庫県病院:岡本助教

実習計画の概要

	科目名	単位	内容	施設	時期	学生配置
第Ⅰ段階	ｺﾐｭﾆﾃｨ看護実習Ⅰ	1	地域で暮らす高齢者の活動と場の特性を知り、通所する高齢者や入所している高齢者がリハビリテーションや疾病・障害予防に取り組む状況について理解する。	老人保健施設 通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ施設	1年次 後期	5名1グループで16グループ編成
	医療看護実習Ⅰ	1	看護師に付き、ベッドサイドケアに同行し、看護援助の実際を見学する。さらに、患者が療養生活をおくる場や環境、治療の場、患者間や看護師間でのコミュニケーションの実際、地域のなかで病院が果たしている役割について学ぶ。	病院	1年次 前期	5名1グループで16グループ編成
	成育看護実習Ⅰ	1	地域で生活する人々（乳幼児）との関わりを通して、乳幼児の健康な生活のあり方を理解し、その支援について学ぶ。学生は保育所・幼稚園で保育士、幼稚園教諭の活動を見学することで、乳幼児の成長・発達に関する理解を深め、乳幼児とのコミュニケーションの実際を学ぶ。	保育所 幼稚園	1年次 後期	5名1グループで16グループ編成
第Ⅱ段階	ｺﾐｭﾆﾃｨ看護実習Ⅱ（老年）	2	老年期にある人の加齢による身体機能の変化、健康障害、生活障害および心理・社会面の変化から健康上の課題をアセスメントし、対象の価値観を尊重しながら、残存機能を活動するための援助ができる能力を養う。	病院	2年次 後期	5名1グループで16グループ編成
	医療看護実習Ⅱ（精神）	2	精神科病院およびデイケア等の通所施設で精神障がいをもつ人を受け持ち、人間関係構築のプロセスを体験しながら、自己洞察、他者理解を深める。	病院	2年次 後期	5名1グループで16グループ編成
	医療看護実習Ⅱ（急性期）	3	周手術期あるいは急性期にある成人期から老年期の患者を受け持ち、侵襲に対する多様なリスクと生体反応、回復に影響を及ぼす患者・家族の特性をアセスメントし、苦痛を緩和して患者・家族のもつ回復力を最大限に引き出すための看護援助を学ぶ。	病院	3年次 前期・後期	5名1グループで16グループ編成
	医療看護実習Ⅱ（慢性期）	3	慢性的な健康問題を抱える人を受け持ち、疾患管理や症状管理、リハビリテーションなどを必要とする患者の身体、生活、心理的変化を疾患や治療の特徴、ライフサイクルや社会的役割などを、患者が置かれた状況と関連付けて理解し、患者の健康ニーズに応じた看護援助を実践するために必要な知識や技術を学ぶ。	病院	3年次 前期・後期	5名1グループで16グループ編成
	成育看護実習Ⅱ（小児）	2	医療施設で療養する子どもを身体的、心理的、社会的側面から全人的に理解し、必要な看護を判断するとともに、子どもとその家族に安全かつ安心できる看護実践能力の基礎を習得する。子どもと家族がよりよい療養生活を送るための、社会資源や多職種連携のあり方について学び、それらを通して看護師の役割について学ぶ。	病院	3年次 前期・後期	5名1グループで16グループ編成
	成育看護実習Ⅱ（母性）	2	周産期にある母子との関わりや周産期看護に携わる看護職との関わりを通して、母子の生理的変化や心身の適応過程ならびに健康ニーズを理解し、その健康状態の維持・促進や親役割を取得するうえで必要な看護の知識・技術・態度を学ぶ。	病院	3年次 前期・後期	5名1グループで16グループ編成

	科目名	単位	内容	施設	時期	学生配置
第Ⅲ段階	総合実習（地域・在宅）	4	看護専門職として地域で暮らす人々やその人を取り巻く保健・医療・福祉の課題に向かう態度を身につける。その上で、健康の観点から「人々の暮らしと文化」を支える看護支援のあり方を学ぶ。	病院 訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝ 地域包括支援ｾﾝﾀｰ	4年次 前期	研究内容や実習施設の受入れ人数等を考慮して最終決定
	課題探究（※実習）	2	「総合実習（地域・在宅）」の中から見出した看護課題をとりあげ、学生のテーマに沿ったフィールドにおいて実践活動を行い、フィールドの文化や対象者の特性をつかむ。学生が関心をもった各専門科目群の関連施設でフィールドワークを行うことにより、実践への深い関心と看護への探究心を育成し、卒業後のキャリア開発につなげていく。 ※「課題探究」については、当初申請時の「課題研究」から科目名称を変更している。この科目名称の変更に関して、実習施設の承諾書は、「課題研究」で提出しているが、「看護学部（仮称）は設置構想中のため、授業科目名等は予定であり変更する場合があります。」と記載しており、本件の「課題研究」から「課題探究」への変更については、あくまで科目名称の変更であって内容を変更するものではないため、承諾書の差し替えは行わない。ただし、各実習施設に対しては、科目名称の変更について既に説明を完了している。また、承諾書にこの文言のない兵庫県（健康福祉事務所）については、説明の上、再度承諾書を提出してもらっている。	病院 訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝ 地域包括支援ｾﾝﾀｰ 保健所・保健ｾﾝﾀｰ 企業	4年次 通年	各専門科目群担当教員の指導状況や実習施設の受入れ人数等を考慮して最終決定

	科目名	単位	内容	施設	時期	学生配置
保健師（選択制）	公衆衛生看護活動論実習	2	地域で生活している人々の健康課題を把握し、保健指導技術や他職種との連携、マネージメント能力といった公衆衛生看護活動における看護職の役割を理解する。	保健所・保健ｾﾝﾀｰ	4年次 前期	実習前年度に兵庫県看護系大学協議会と調整
	公衆衛生看護管理論実習	1	保健所の機能と役割、地域特性と健康課題、保健師活動について学ぶ。行政機関における看護職の役割や保健医療福祉の連携について理解し、地域の人々の健康課題を把握するための地域看護診断を行い、セルフケア能力を高めるための公衆衛生看護管理技術を学ぶ。	保健所・保健ｾﾝﾀｰ	4年次 前期	実習前年度に兵庫県看護系大学協議会と調整
助産師（選択制）	助産学実習	8	妊産褥婦と胎児・新生児の心身の経過を判断し、ニーズ、健康課題・問題を理解し、必要な援助を計画・実践・評価する能力を養う。医療施設において正常分娩を中心とした助産援助を安全・安楽・満足を考慮して実践するために必要な基礎的能力を習得し、正常な経過に加えて、異常の予測と判断ができ、適切な対応ができる能力を習得する。また、妊産褥婦と新生児に対し必要な保健指導が実践できる能力を養い、助産師としての役割と責務について理解する。	病院	4年次 前期	2～4名1グループで3グループ編成

看護学部看護学科臨地実習履修資格についての細則

看護学部看護学科において臨地実習を履修しようとする者は、実習に耐え得る健康を保持し、実習に必要な知識・技能を身に付けていることとする。また、次の臨地実習科目については、履修前に、それぞれに掲げる条件を全て満たしていることを原則とする。

(1)　コミュニティ看護実習Ⅱ（老年）、医療看護実習Ⅱ（精神）、医療看護実習Ⅱ（急性期）、医療看護実習Ⅱ（慢性期）、成育看護実習Ⅱ（小児）及び成育看護実習Ⅱ（母性）

①　1 回生の臨地実習科目を全て修得済みであること。

②　1 回生から 2 回生前期までの専門科目のうち、必修科目の未修得科目が 2 科目以内であること。

(2)　課題探究及び総合実習（地域・在宅）

①　1 回生から 3 回生までの臨地実習科目を全て修得済みであること。

②　1 回生から 3 回生までの専門科目のうち、必修科目の未修得科目が 3 科目以内であること。

(3)　公衆衛生看護活動論実習及び公衆衛生看護管理論実習

①　保健師国家試験受験資格選択科目の履修が認められていること。

②　「課題探究」及び「総合実習（地域・在宅）」の履修が認められていること。

(4)　助産学実習

①　助産師国家試験受験資格選択科目の履修が認められていること。

②　「課題探究」及び「総合実習（地域・在宅）」の履修が認められていること。

附則　この細則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

臨地実習における事故防止・事故対応マニュアル

１．目的

（１） 事故は誰もが起こす可能性があることを理解し事故を未然に防ぐ意識を持つ。

（２） 万一の事故発生の際に迅速かつ適切な報告・対応を行う。

（３） 事故またはインシデント（ヒヤリ・ハット）の事例を自ら検証し、特徴を捉えることで事故の再発または重大事故の発生を防止する。

２．事故の種類

（１） 対象者（患者等）に関するもの
転倒・転落、損傷、誤薬、配膳ミスなど

（２） 学生に関するもの
切傷、針刺し損傷、伝染性疾患の感染、患者からの暴力、通学・移動中の事故など

（３） 物品の破損・紛失に関するもの
対象者の私物の破損・紛失、実習先の薬品・器具等の破損・紛失など

（４）個人情報保護に関するもの
個人情報を漏洩する、する恐れがある行動など。これらに関しては別に定める「個人情報保護に関するマニュアル」を参照のこと。

３．事故防止・事故発生時の留意事項

臨地実習においては、対象者の生命および健康を守り、より安全な環境を確保することが最優先となるので、学生は以下の留意事項を十分に理解したうえで実習に臨むものとする。

（１） 看護技術に関して、対象者の安全を守ることができるレベルまで習得する。

（２） 学生自身が受傷することや事故の被害者になる可能性もあるため、自己の健康管理、実習先の環境特性を良く把握するとともに感染等を防止するための予防措置を行う。

（３） 臨地実習の場では、常に事故、インシデントが潜在していることを認識し、それぞれの実習先において起こりやすい事故を理解する。

（４） 機器等の取り扱い方法や注意事項に関しては、事前に十分に学習をして、取り扱い上の人為的なミスを防止する。

（５） 対象者の私物を取り扱う際は、対象者の同意を得たうえで、対象者に取り扱い方法を確認するとともに破損しやすい物品がないかどうかを確認する。

（６） 万一の事故発生の際には、対象者の安全確保を最優先とし、事故の被害を最小限に抑える。また、報告・連絡・相談を徹底し、速やかな対応を実現することができるよう、事故発生時における対応方法に関して、学生・実習指導者・担当教員におい

て事前に十分な確認を行う。

担当教員は学生への実習オリエンテーションにおいて、上記の事故防止・事故発生時の留意事項を十分に説明し指導を徹底する。

４．事故発生時の対応

以下の事象が発生した場合は「事故発生時の対応図」により、速やかに対応する。

（１） 学生が対象者等に危害を与えた場合
（２） 学生が対象者等の貴重品等の紛失・破損に関係した場合
（３） 学生が実習先の設備・備品等の破損・紛失に関係した場合
（４） 学生に針刺し事故が発生した場合
（５） 学生が対象者等から危害を受けた場合
（６） 学生が感染症に罹患した場合または罹患の疑いがある場合

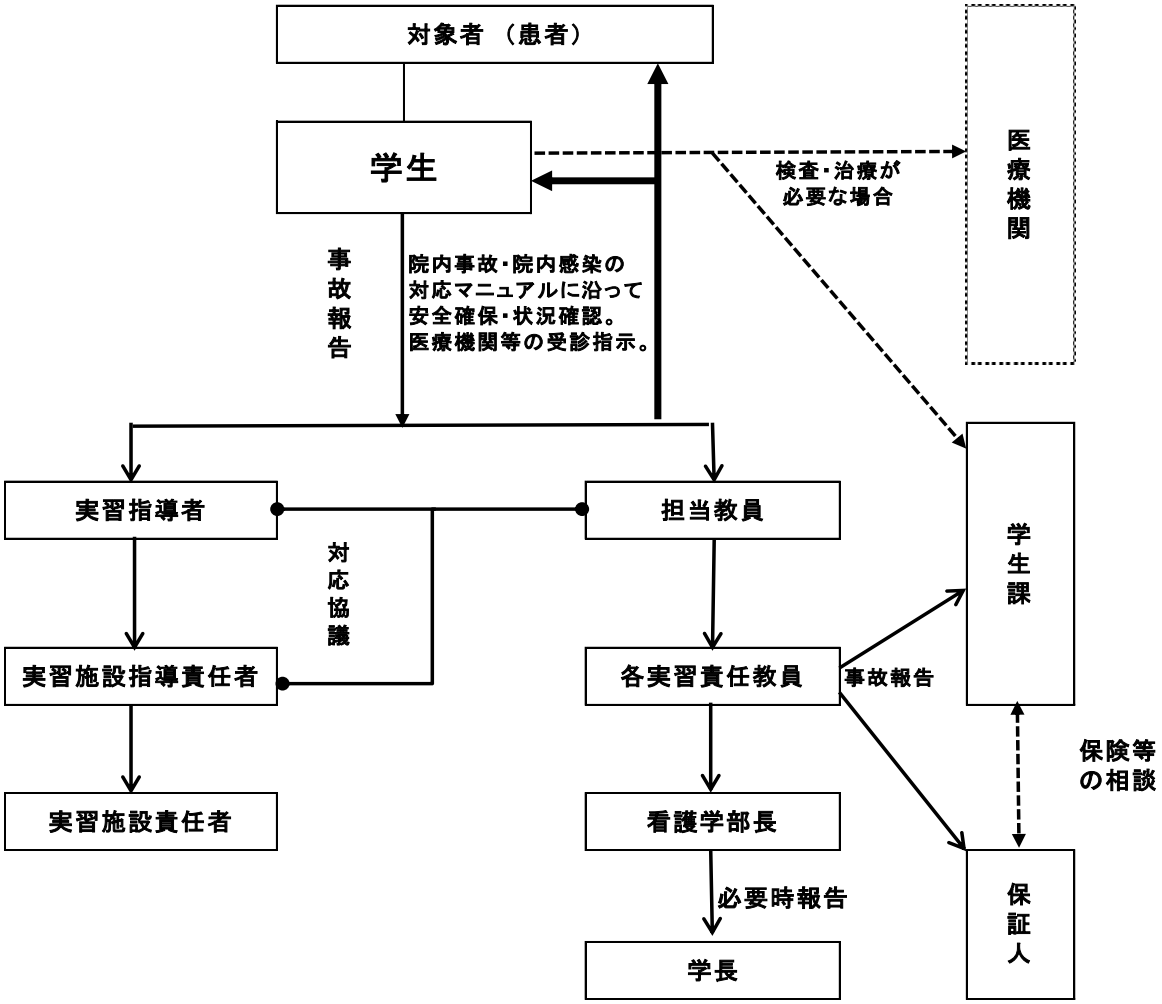
５．事故後の対応

（１） 学生は事故発生後３日以内に、事故状況・対応・原因・改善策等について振り返りを行い、「臨地実習における事故報告書（学生）」**＜別紙１＞**を担当教員に提出する。担当教員は、学生の心理状況に十分留意し、再発防止に向け改善指導を行う。
（２） 担当教員は改善指導に関する事項について「臨地実習における事故報告書（教員）」**＜別紙２＞**を作成し各実習責任教員を経由して看護学部長に報告する。
（３） 保険（「６．保険の加入」参照）による補償が可能な場合は、事務部門を通じて保険会社に手続きを行う。
（４） 再発防止に向け、看護学部内において事故またはインシデントの情報共有、原因分析を行う。その際には、学生の個人情報保護には十分留意する。
（５） 事故に至らなかったヒヤリハット事例においても、学生はヒヤリハット報告用紙**＜別紙３＞**を作成し、担当教員を経由して各実習責任教員に文書で報告する。

６．保険の加入

学生は、実習施設への移動時や実習中の事故に対処するため、実習前に実習に関わる学生用の傷害保険・賠償責任保険に加入する。全ての事象が保険適用となるよう、傷害事故で学生自身がケガをした場合の補償、他人にケガをさせたり、他人の物を紛失・破損した場合の賠償責任への補償、感染事故に対する補償の内容とする。

事故発生時の対応図



【対応手順】

①事故発生時、学生はただちに実習指導者及び担当教員に連絡し、その指示により行動する。

※学生は自己の身体に危害が生じた場合、または異常を感じた場合には、その旨を必ず報告する。

※被害が発生しないインシデントの場合も、学生は速やかに担当教員、実習指導者に連絡する。

②担当教員は実習指導者と協働し、事故現場の安全を確保するとともに事故の状況を確認する。

③担当教員は実習指導者、実習施設指導責任者と対応を協議する。

④担当教員は各実習責任教員に事故の発生状況、処置状況及び今後の対応を報告する。
⑤各実習責任教員は看護学部長に事故の状況等を報告相談する。
※学生のケガの有無などを考慮し、必要に応じて、事務部門、保証人との連絡調整を行う。

７．感染予防対策

（1） 実習前

・大学所定の健康診断を受け、日常から自己の健康状態に留意し、健康管理を行う。
・麻疹（はしか)、風疹（三日ばしか)、水痘（みずぼうそう)、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）については、実習前に免疫獲得状況を確認する。
・麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、B 型肝炎の抗体価検査と結核のツベルクリン反応検査に関して検査結果が陰性の場合は、実習前にワクチン投与してから実習に臨む。
・インフルエンザ、流行性結膜炎等の感染性疾患に罹患している場合は、他者への感染の危険性がなくなるまで、実習には参加できない。
・学生に感染症が疑われる症状が出現した場合（下痢、嘔吐、発熱、眼脂、目のかゆみ、充血など）は、速やかに担当教員に連絡する。

（2） 実習中

・感染防止に関する既習の知識・技術を見につけ、実習施設の対策に基づいて感染予防に努める。
・身体・ユニフォーム等の清潔を保ち、衛生管理を行う。
・毎朝、自己の健康状態を把握して実習に臨み、感染症が疑われる症状が出現した場合は、速やかに担当教員に連絡する。

＜別紙１＞

臨地実習における事故報告書（学生）

<table>
<tr><td>報告者（学生）</td><td colspan="2">学籍番号　　氏名</td></tr>
<tr><td>報告日</td><td colspan="2">平成　　年　　月　　日（　　）</td></tr>
<tr><td>事故発生日時</td><td colspan="2">平成　　年　　月　　日（　　）　　時　　分</td></tr>
<tr><td>実習名</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>実習施設名</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">事故等の種類
（該当する番号に〇）</td><td>対象者に関するもの</td><td>1. 転倒・転落　2. 損傷　3. 誤薬　4. 配膳ミス
5. その他（　　）</td></tr>
<tr><td>学生に関するもの</td><td>1. 切傷　2. 針刺し損傷　3. 伝染性疾患の感染
4. 患者からの暴力　5. 通学・移動中の事故
6. その他（　　）</td></tr>
<tr><td>物品の破損等</td><td>1. 対象者の私物の破損・紛失
2. 薬品・器具等の破損・紛失
3. その他（　　）</td></tr>
<tr><td>事故の内容
発生時の状況</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>発生時の対応</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>発生原因に関する考察</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>改善策に関する考察
（事故の内容、対応、原因などを総合的に考察の上で記載する）</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

＜別紙 2＞

臨地実習における事故報告書（教員）

<table>
<tr><td>報告者（担当教員）</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>事故当事者（学生）</td><td colspan="2">学籍番号　　氏名</td></tr>
<tr><td>事故発生日時</td><td colspan="2">平成　　年　　月　　日（　　）　　時　　分</td></tr>
<tr><td>実習名</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>実習施設名</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">事故等の種類
（該当する番号に〇）</td><td>対象者に関するもの</td><td>1. 転倒・転落　2. 損傷　3. 誤薬　4. 配膳ミス
5. その他（　　）</td></tr>
<tr><td>学生に関するもの</td><td>1. 切傷　2. 針刺し損傷　3. 伝染性疾患の感染
4. 患者からの暴力　5. 通学・移動中の事故
6. その他（　　）</td></tr>
<tr><td>物品の破損等</td><td>1. 対象者の私物の破損・紛失
2. 薬品・器具等の破損・紛失
3. その他（　　）</td></tr>
<tr><td>事故の内容
発生時の状況</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>事故発生時の担当教員と実習指導者の対応と経過</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>発生原因に関する考察</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>改善策に関する考察</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>学生の心身の状況</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>実施した改善指導の内容</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

ヒヤリ・ハット体験の領域別分類

療養上の世話	1	転倒・転落
	2	誤嚥・誤飲
	3	食事に関すること(誤嚥・誤飲を除く)・経管栄養
	4	熱傷・凍傷(入浴に関することを除く)
	5	抑制に関すること
	6	入浴・沐浴に関すること(転倒、熱傷、溺水、急変等)
	7	清潔に関すること(入浴以外、爪切り、口腔ケア等)
	8	排泄に関すること
	9	自殺、自傷
	10	無断離院・外泊・外出に関すること
	11	暴力・盗難等
	12	その他
医師の指示に基づく診療の補助業務	13	与薬(経口、経鼻等)
	14	注射・点滴・IVH
	15	機器類操作・モニターに関すること
	16	チューブ類の管理に関すること
	17	検査に関すること
	18	手術に関すること
	19	分娩に関すること
	20	医療ガス(酸素、笑気等)に関すること
観察・情報	21	患者観察、病態の評価に関するもの
	22	情報の記録、医師への連絡に関すること
	23	患者・家族への説明、接遇に関すること
学生が受ける危害	24	傷害事故(転倒、不慮の事故等)
	25	患者からの暴力
	26	セクシャル・ハラスメント
その他	27	施設の設備、備品、環境に関すること
	28	患者(対象者)個人の備品等に関すること
	29	(院内)感染に関すること
	30	その他

ヒヤリ・ハット報告用紙　　平成　年　月　日　＜別紙 3＞

＊科目名(　　)　＊実習領域(　　)

＊実習場所(　　)　＊担当教員(　　)

＊体験の日時と時間帯　平成　年　月　日(実習　日目)、午前・午後(　　)時頃

①分類(　　):左記の分類で記入してください。

②ヒヤリ・ハットの内容:どのような患者(年齢、病態、障害、服薬状況など)に、どのような状況の時(実習の流れや周辺状況との関係など)に、何が起き(ようとし)たのですか。あるいは学生に、どのような状況の時(実習の流れや周辺状況との関係など)に、何が起き(ようとし)たのですか。そのとき、どのように対応しましたか。

③教員はどのようにしてそのことに気づきましたか？

a. 教員がその場にいた　b. 学生から報告があった　c. 実習先のスタッフから報告があった

d. カンファレンスを通してわかった　e. その他

(　　)

④なぜ防止できたのですか？(未然に防ぐことができたのであれば、記載してください)

a. 偶然防止できた　b. 危険を察知できる人が近くにいた

c. その他(　　)

⑤学生にどのようにフィードバックしましたか？

＊この欄は教員が記載

1. 危険要因

S(ソフトウェア)

H(ハードウェア)

E(環境)

L(他人)

L(当事者)

m(管理)

2. リスクの評価

①重大性(A＞B＞C)

②緊急性(A＞B＞C)

3. 対応

1)大学及び施設への対応

①担当教員から学生へのフィードバックのみ

②担当教員から看護長(部署責任者)への報告

③大学から看護部(施設長)への報告

2)患者・家族への対応

4. キーワード

参考文献・・川村治子:書きたくなるヒヤリ・ハット報告;体験から学ぶ看護事故防止のツボ、医学書院、2000〉